

しもきた
下北半島縦貫道路
のへじ しちのへ
野辺地～七戸

計画段階評価
第2回 説明資料

目 次

1. 計画段階評価の検討の流れ
2. 第1回地域の意見聴取結果の確認
3. 政策目標の設定
4. 対応方針（ルート帯案）の検討
5. 第2回地域の意見聴取の方法

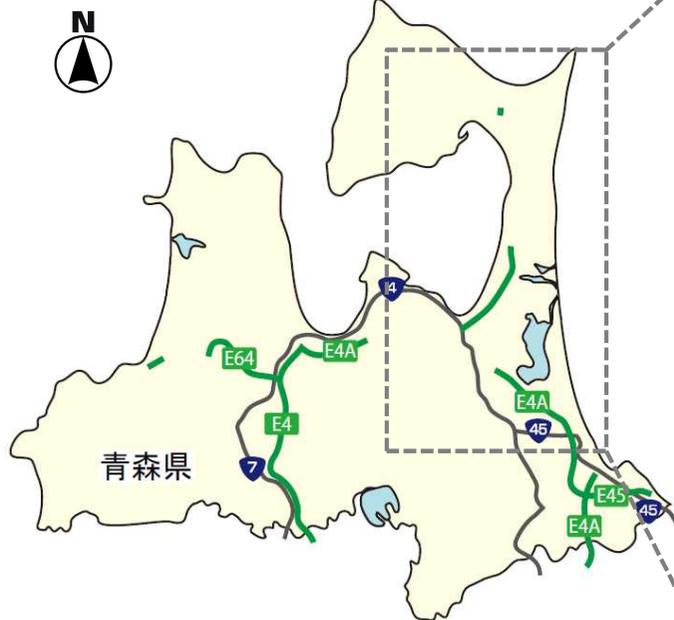
令和3年2月12日
国土交通省 東北地方整備局

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1. 評価対象区間

- 下北半島縦貫道路は、下北地域の中心都市であるむつ市を起点に、東北縦貫自動車道八戸線と接続する計画延長約60kmの地域高規格道路。
- 対象区間は下北半島縦貫道路と東北縦貫自動車道八戸線の接続部である「野辺地^の～七戸^{しちのへ}」の約7km区間。

【図1】広域図



【図2】詳細図



0 5km 10km

1-2. 前回(第1回)審議内容

■第28回社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会の概要

実施日：令和2年2月7日(金)開催

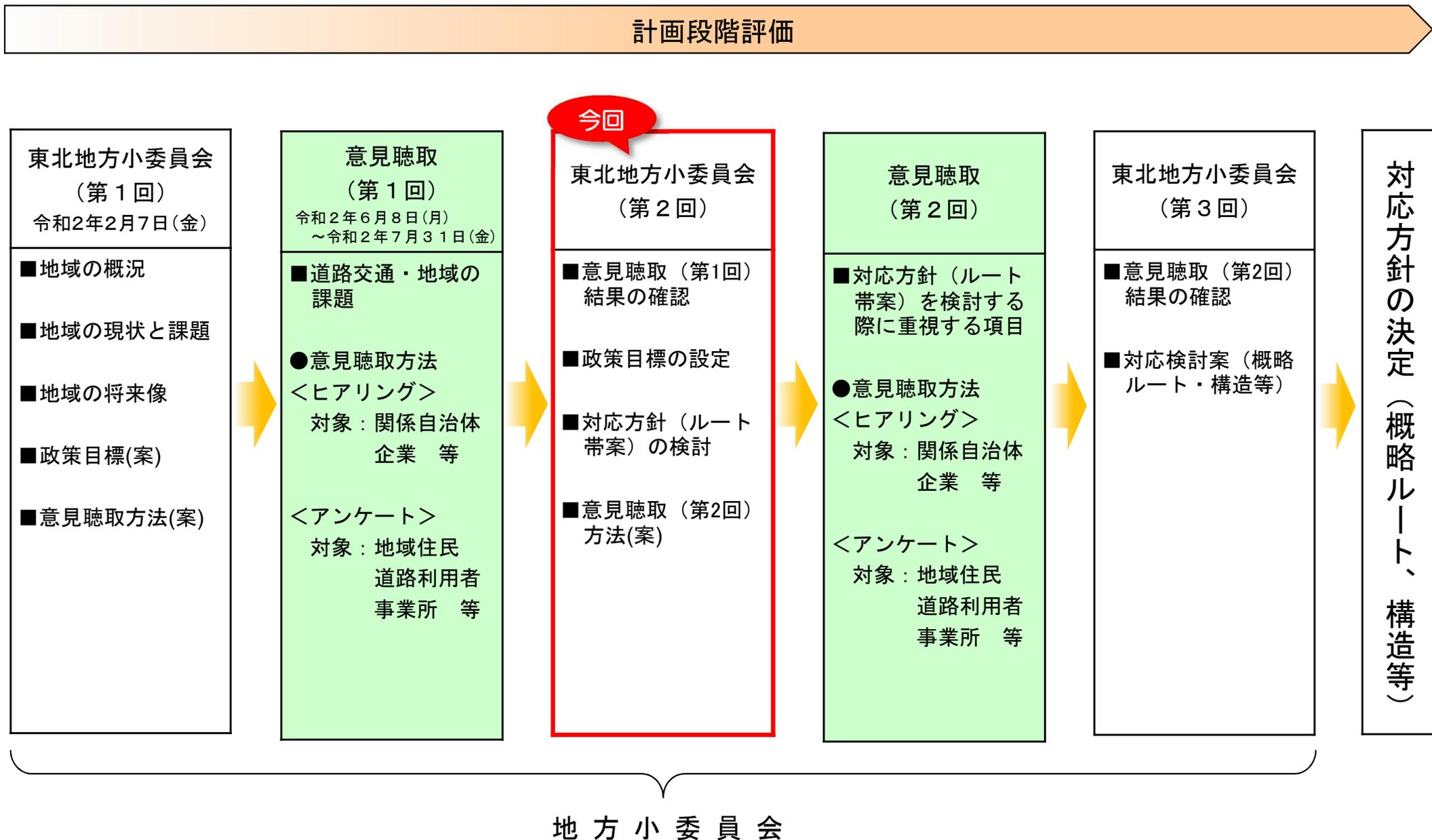
- 主な議事：①地域の現状と課題
 ②課題の整理
 ③政策目標(案)の設定
 ④意見聴取(第1回)の方法案

【表1】前回審議における主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
<p>【意見聴取方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート配布に関して、より多くの回答を得るためにアンケートに対して2通の回答はがきを添付するなどの工夫をすること。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートに2通の回答はがきを添付。 新たな取り組みとして、ガソリンスタンドへのチラシ配布や防災無線の活用等、様々な周知活動を実施。 <p style="text-align: right;">【本資料P8～9】</p>
<p>【意見聴取方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の高齢化が進んでいる等の状況を踏まえ、デイサービスの送迎等も考慮されることから福祉関係者をヒアリング対象にすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ヒアリング対象に、福祉関係者を追加。 <p style="text-align: right;">【本資料P6】</p>

1-3. 今後の計画段階評価の進め方(案)

○地域住民や道路利用者の意見を聞きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。



2. 第1回地域の意見聴取結果の確認

2-1. 地域の意見聴取(第1回)の実施内容

○地域の意見聴取(第1回)は、地域住民・事業者・道路利用者へのアンケート調査、および関係団体へのヒアリング調査を実施。

1. 意見聴取期間

令和2年6月8日(月)～令和2年7月31日(金)

2. 意見聴取の対象

【表1】アンケートによる意見聴取の対象

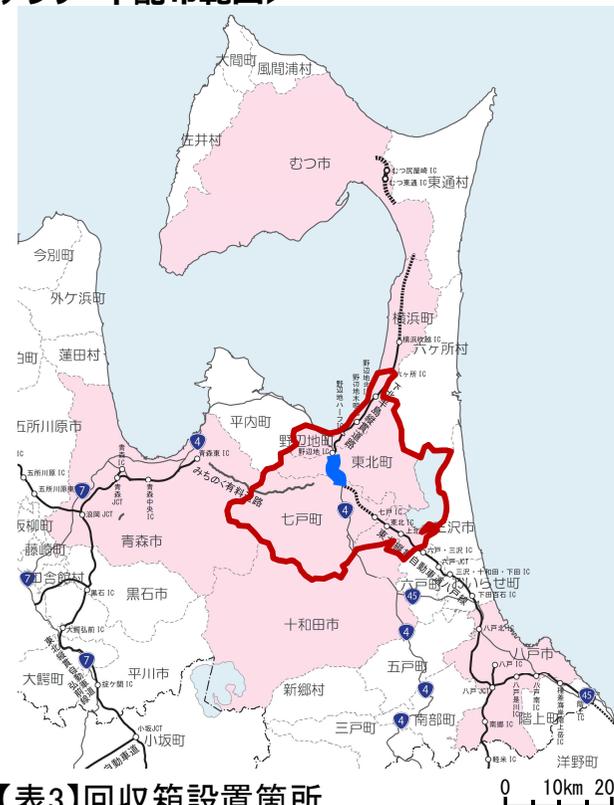
調査対象者		調査手法・規模
地域住民	・野辺地町、七戸町、東北町	・対象地域に広報紙折り込みで全戸配布(16,311世帯)
	・青森市、八戸市、十和田市、むつ市、横浜町	・対象区間の利用が多い地域を対象に抽出郵送配布(20,000世帯)
事業所等	・対象区間の利用企業 ・上北地域の企業	・対象地域を含む上北地域の主要企業への郵送配布(61事業所) ・対象区間を利用する企業への郵送配布(59事業所)
道路利用者	・広域の道路利用者	・WEB ・留置き(48箇所)

【表2】ヒアリング調査による意見聴取の対象

関連団体ヒアリング調査：46社・団体		
<ul style="list-style-type: none"> ・自治体(1市3町) ・県(1県) ・農業関連団体(3団体) ・漁業関連団体(4団体) ・林業関連団体(1団体) ・木材加工業者(2社) 	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業者(1社) ・商工会議所(3団体) ・トラック協会(1団体) ・観光協会等(5団体) ・消防機関(2団体) ・医療機関(2団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察機関(2団体) ・バス事業者等(4社) ・学校(3団体) ・物流業者(5社) ・福祉事業者(3社)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ヒアリング調査は訪問形式ではなく、調査票の郵送配布・回収、電話による補足聞き取りにより実施

＜アンケート配布範囲＞



【表3】回収箱設置箇所

国土交通省	青森河川国道事務所、青森国道維持出張所、八戸国道出張所、十和田国道維持出張所	野辺地町	野辺地町役場、野辺地町中央公民館、野辺地町立図書館、野辺地町観光物産PRセンター	十和田市	十和田市役所、十和田市東コミュニティセンター、十和田市民図書館、市民交流プラザ トワール
青森県	青森県庁、上北地域県民局、下北地域県民局、東青地域県民局、三八地域県民局	七戸町	七戸町役場、七戸町役場七戸庁舎、七戸中央公民館、七戸中央図書館、七戸町観光交流センター、七戸十和田駅	むつ市	むつ市役所、むつ市役所川内庁舎、むつ市役所脇野沢庁舎、ウェルネスパーク、むつ市中央公民館、むつ市立図書館、むつ来さい館、むつ下北観光物産館まさかりプラザ
		東北町	東北町役場、東北町役場東北分庁舎、東北町町立図書館、東北町中央公民館、東北町町民文化センター		
道の駅	しちのへ、おがわら湖、浅虫温泉、よこはま	青森市	青森市役所駅前庁舎、青森市民図書館		
		八戸市	八戸市役所、八戸市役所分庁舎、八戸市立図書館	横浜町	横浜町役場、横浜町ふれあいセンター

※留置アンケートについては、上記施設にアンケート調査票・回収箱を常設した。

2-2. 地域の意見聴取(第1回)のアンケート回収状況

- 地域住民へのアンケートは、野辺地町、七戸町、東北町に全戸配布、青森市、八戸市、十和田市、むつ市、横浜町で抽出配布を行なった他、WEBアンケート・留置アンケートを実施し、全体の回収数は10,031票、広報紙・抽出郵送配布における世帯単位での回収率は14%となった。
- 事業者へのアンケートは、対象区間の利用企業、沿線自治体の主要企業を対象に行い、回収数は87票、事業所単位での回収率は38%となった。

【表1】アンケート調査票の回収状況

分類	配布方法	配布数	回収数	回収率
地域住民・ 道路利用者	広報紙・抽出郵送配布	36,311 (72,622)	5,127 (8,556)	14% (12%)
	留置き	—	308 (603)	—
	WEB	—	872	—
	合計	—	6,307 (10,031)	—
事業所等	郵送配布	120 (240)	45 (87)	38% (36%)

※アンケートにはハガキを2枚添付、回収数・回収率は、配布したアンケートのうち1枚目の回収数・回収率、()内は1枚目・2枚目を合計した数

2-3. 地域の意見聴取(第1回)の実施状況(アンケート調査)

- アンケート調査として、調査票の住民への配布、留め置きに加え、WEBアンケートを実施。
- 調査の周知に向けて、新聞広告や自治体広報・HPの掲載を実施。

【表1】地域意見聴取内容

- 回答者属性(年齢、職業、性別、住所)
- 問1 国道4号の利用状況(目的、頻度、手段)
- 問2 地域課題について
- 問3 新たな道路整備について
- 問4 その他意見・要望

【図1】配布形式調査票

The image shows a detailed printed survey form. It includes a header with the survey title, a map of the study area, and several numbered sections for data collection. Section 1 is titled '輸送ルートの機能強化' (Strengthening transport routes), Section 2 is '広域周遊観光の形成' (Formation of wide-area sightseeing), and Section 3 is '走行環境の改善' (Improvement of driving environment). Each section contains multiple-choice options and checkboxes.

※1枚のアンケート調査票に、2つの回答はがきを添付

【図2】WEBアンケート

The image shows the web survey interface. It features a map of the study area with a red circle highlighting the survey location. The text on the screen says 'アンケート回答入力ページ' (Questionnaire input page) and 'みなさまのご意見をお聞かせ下さい' (Please let us hear your opinions). There are navigation buttons for 'HOME', 'お問い合わせ', and 'アンケート回答'.

(青森河川国道事務所HP)

【図3】新聞広告

The image shows a newspaper advertisement for the survey. The headline reads '下北半島縦貫道路(野辺地～七戸)の計画検討に関するアンケートを実施しています。' (We are conducting a survey regarding the plan for the Shinko Island縦貫道路 (Yobetsu~Shichu). The ad includes the survey period (July 31st), the survey location, and contact information for the Aomori River and National Route Office.

【図4】自治体広報・HP

The image shows a screenshot of a local government website page. The page is titled '下北半島縦貫道路(野辺地～七戸)のアンケート調査実施中' (Survey for Shinko Island縦貫道路 (Yobetsu~Shichu) is in progress). It features a QR code, a survey period (July 31st), and contact information for the Aomori River and National Route Office.

(野辺地町HP)

【写真1】アンケート留置状況



(七戸町中央図書館)

【図5】自治体広報紙

The image shows a screenshot of a local government newsletter page. The page is titled '下北半島縦貫道路(野辺地～七戸)のアンケート調査を実施中です' (Survey for Shinko Island縦貫道路 (Yobetsu~Shichu) is in progress). It features a QR code, a survey period (July 31st), and contact information for the Aomori River and National Route Office.

(広報とうほく2020年7月)

【写真2】アンケート回答状況



(道の駅浅虫温泉)

2-3. 地域の意見聴取(第1回)の実施状況(アンケート調査)

○調査の周知に向けて、ガソリンスタンドへのチラシ配布、トラック協会HPや防災無線、SNS等を活用した広報を実施。

【写真1】ガソリンスタンドへのチラシ配布

- ・ 64箇所に各30部配布 (計1,920部)



(チラシ設置状況)

【図1】野辺地町防災無線

- 【放送日時】 7月毎週土日 9:20定時放送内
- 【放送内容】 全戸配布アンケートへの協力お願い



(防災無線メッセージの発信状況)

【図2】トラック協会HP

- ・ HPにアンケート調査への協力依頼内容を掲載



2020年6月22日 下北半島縦貫道路「野辺地～七戸間」の計画に関するアンケートご協力のお願い | 青森河川国道事務所

(青森県トラック協会HP)

【図3】SNS(青森河川国道事務所)

- ・ 青森河川国道事務所のSNSで、調査への協力を依頼



2-3. 地域の意見聴取(第1回)の実施状況(ヒアリング調査)

○沿線自治体等の関係団体（46団体）に対して、地域が抱える課題についてヒアリング調査（郵送配布・回収、電話補足調査）を実施。

【表1】地域意見聴取内容

- ・国道4号(野辺地～七戸)の利用状況について
- ・地域課題について
- ・新たな道路整備について
- ・その他意見・要望

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ヒアリング調査は訪問形式ではなく、調査票の郵送配布・回収、電話による補足聞き取りにより実施

【図1】調査チラシ・調査票

下北半島縦貫道路の計画について
みなさまのご意見をお聞かせ下さい
《調査へのご協力をお願い》

野辺地町～七戸町間における道路計画検討をすすめているヒアリング調査です。

野辺地町～七戸町間における道路計画検討をすすめているヒアリング調査です。

【表】調査票

No.	事業名	出資先	建設費	事業期間	建設年度	建設年度
1						
2						
3						
4						
5						

【写真1】電話聞き取り状況



【表2】ヒアリング調査の対象

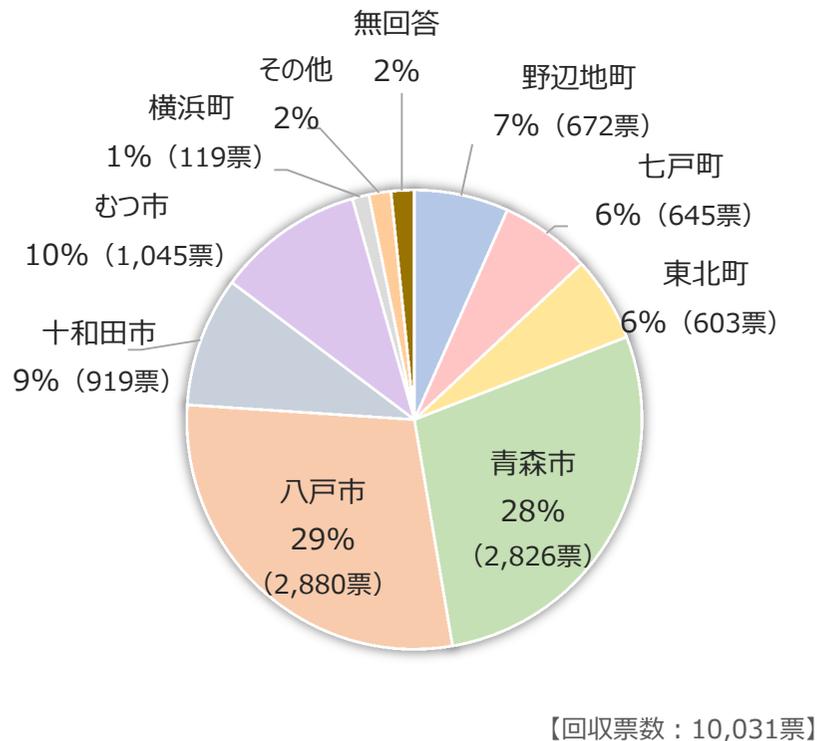
分類	No	名称	所在地	分類	No	名称	所在地
市町村	1	野辺地町	野辺地町	観光協会等	24	むつ市観光協会	むつ市
	2	七戸町	七戸町		25	しもきたTABIアシスト	むつ市
	3	東北町	東北町	消防機関	26	北部上北広域事務組合消防本部	野辺地町
	4	むつ市	むつ市		27	中部上北広域事務組合消防本部	七戸町
県	5	上北地域県民局	十和田市	医療機関	28	公立七戸病院	七戸町
	6	JA十和田おいらせ 本店	十和田市		29	医療法人社団良風会 ちびき病院	東北町
農業関連団体	7	JA十和田おいらせ 七戸支店	七戸町	警察機関	30	野辺地警察署	野辺地町
	8	JAゆうき青森 野辺地支所	野辺地町		31	七戸警察署	七戸町
	9	野辺地漁業協同組合	野辺地町		バス事業者等	32	三八五バス(株)
10	小川原湖漁業協同組合	東北町	33	ニッポンレンタカー 八戸駅東口営業所		八戸市	
11	むつ市漁業協同組合	むつ市	34	十和田観光電鉄(株)		十和田市	
12	横浜町漁業協同組合	横浜町	35	下北交通(株)		むつ市	
13	青森県森林組合連合会	青森市	36	青森県立野辺地高等学校		野辺地町	
林業関連団体	14	青森プライウッド(株) (関連会社:ファーストプライウッド)	六戸町	教育機関	37	八戸学院野辺地西高等学校	野辺地町
	15	下北王子林産(株)	むつ市		38	青森県立七戸高等学校	七戸町
木材加工業者	16	日本ホワイトファーム(株) 東北事業所	横浜町	物流事業者	39	ヤマト運輸(株) 青森主管支店	青森市
	17	野辺地町商工会議所 (野辺地町商工会)	野辺地町		40	㈱ニヤクコーポレーション 青森営業所	青森市
商工会議所	18	東北町商工会議所 (東北町商工会)	東北町	41	ホクブトランスポート(株) 青森支社	青森市	
	19	七戸町商工会議所 (七戸町商工会)	七戸町	42	㈱エネックス 東北支店 青森営業所	青森市	
	20	青森県トラック協会	青森市	43	三八五流通(株)	八戸市	
観光協会等	21	野辺地町観光協会	野辺地町	福祉事業者	44	デイサービスセンターはまなす (総合福祉センターのへじ)	野辺地町
	22	しちのへ観光協会	七戸町		45	天寿園デイサービスセンター	七戸町
	23	横浜町観光協会	横浜町		46	ちびきデイサービスセンター	東北町

2-4. 住民等への意見聴取の結果(属性)

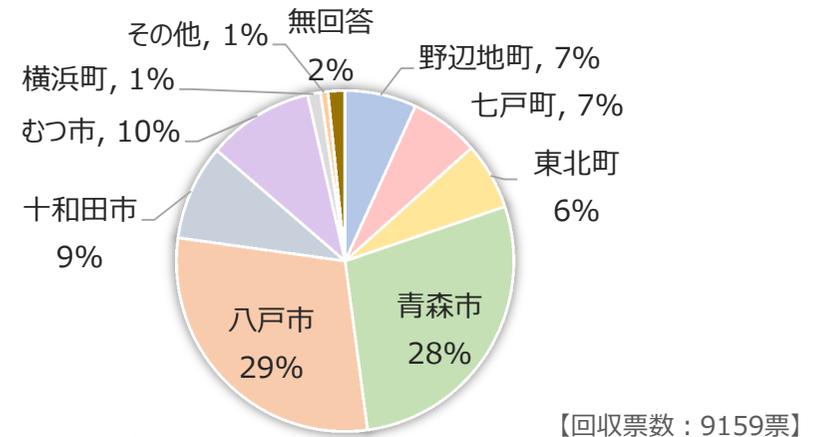
- 居住地別回収状況について、当該区間に関する対象地域の3町以外の関心も高く、周辺の主要都市である青森市や八戸市、むつ市等からの回答数も多くなっている。
- 郵送・留置きに比べてWEBアンケートでは、居住地が「その他」の割合が高く、沿線及び周辺地域に加えてより広域的なエリアからの回答が集まっている。

質問 あなたについてお聞かせください。(回答者の属性:居住地)

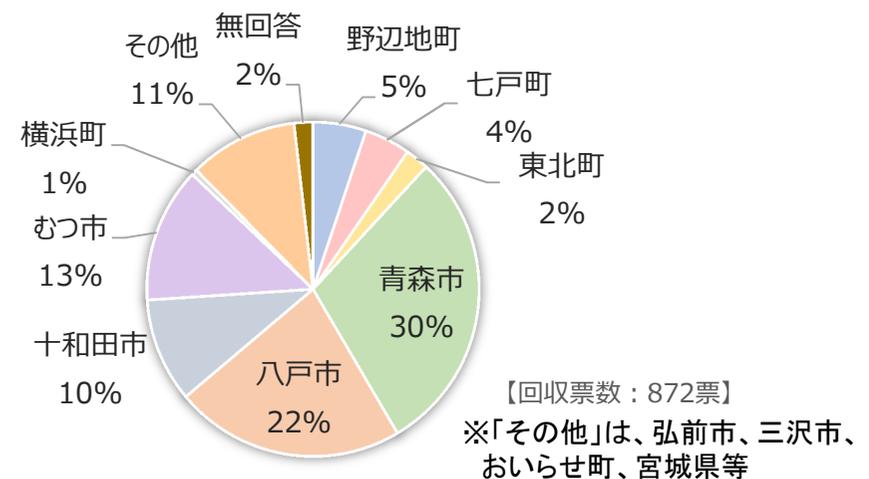
【図1】回答者居住地分布



【図2】回答者居住地分布(郵送、留置き)



【図3】回答者居住地分布(WEBアンケート)

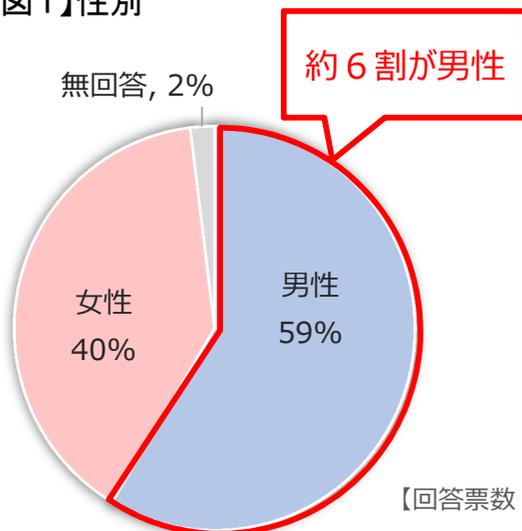


2-4. 住民等への意見聴取の結果(属性)

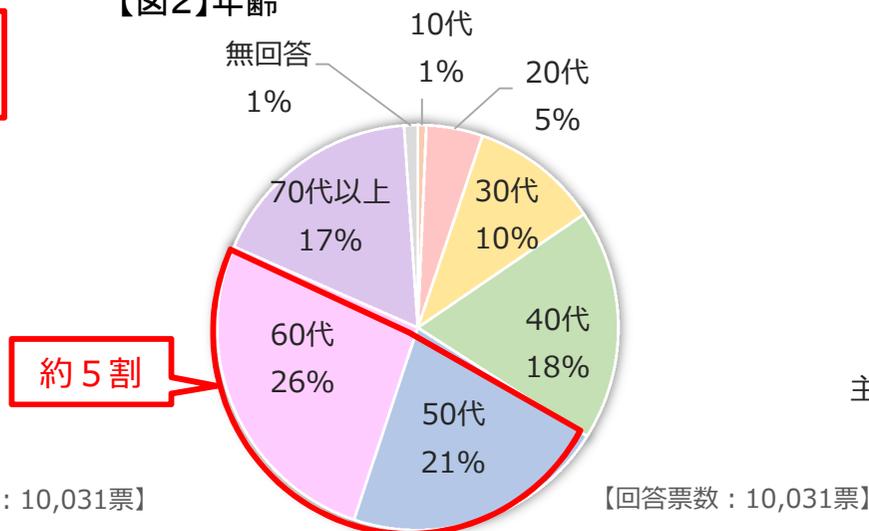
- 性別は男性が約6割、年齢は50～60代が約5割を占めている。
- 職業は、就業者の回答が約6割を占めている。

質問 あなたについてお聞かせください。(回答者の属性:性別、年齢、職業)

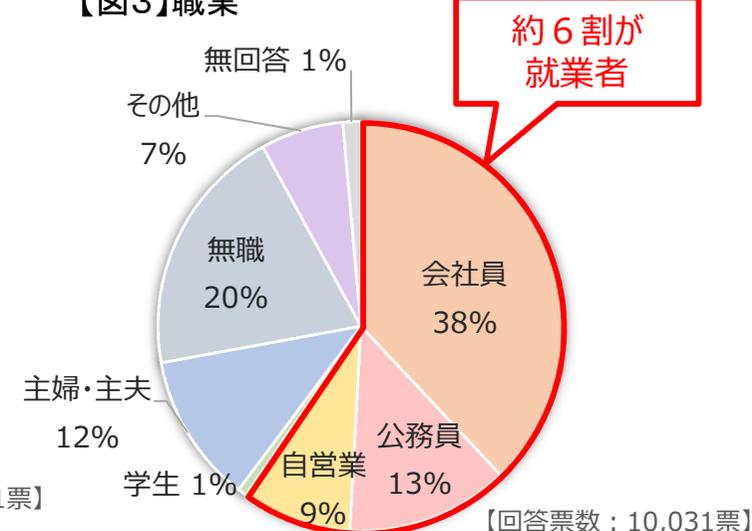
【図1】性別



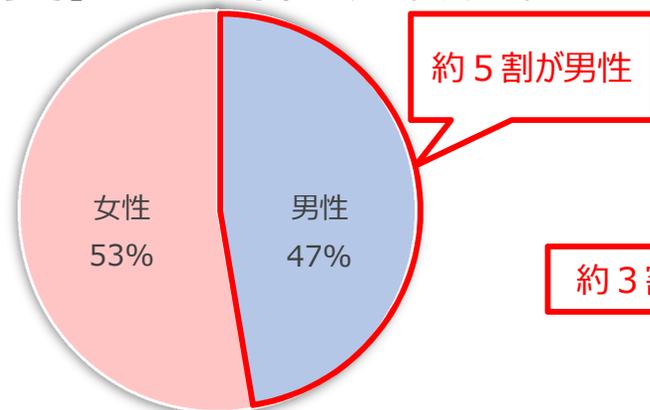
【図2】年齢



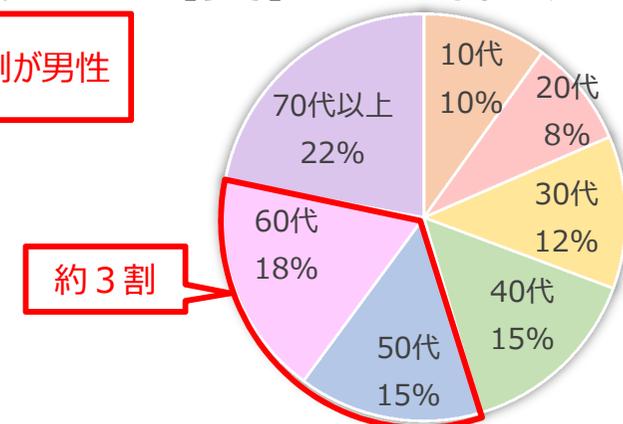
【図3】職業



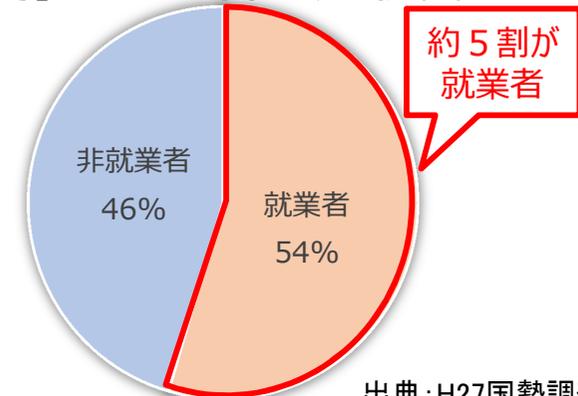
【参考】アンケート対象地域の性別比率



【参考】アンケート対象地域の年齢構成



【参考】アンケート対象地域の就業率



出典：H27国勢調査

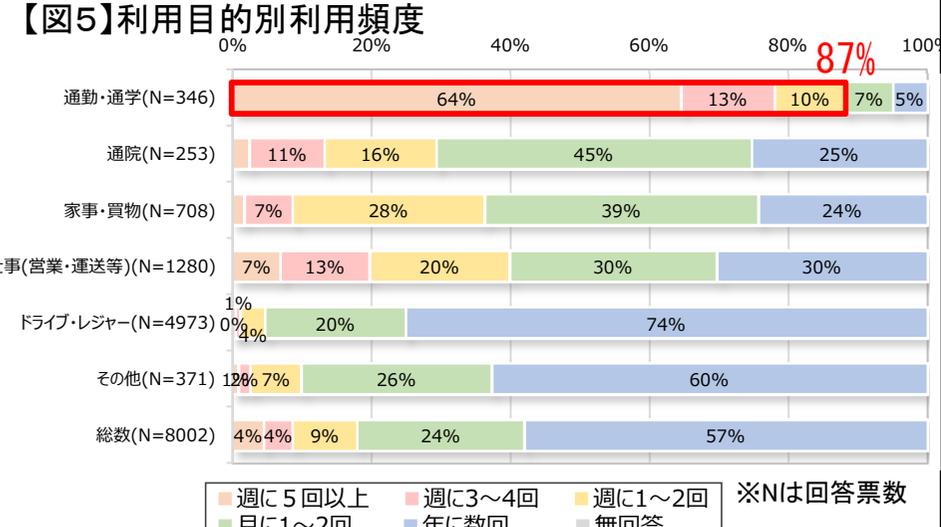
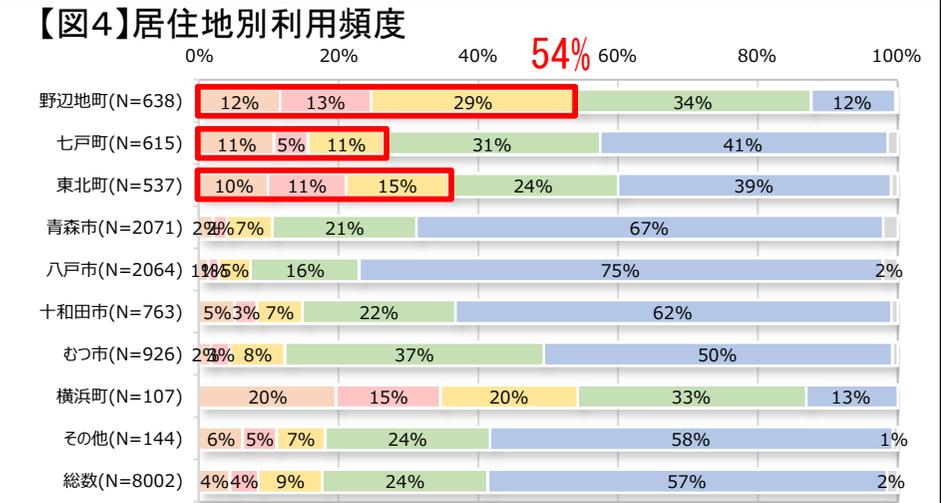
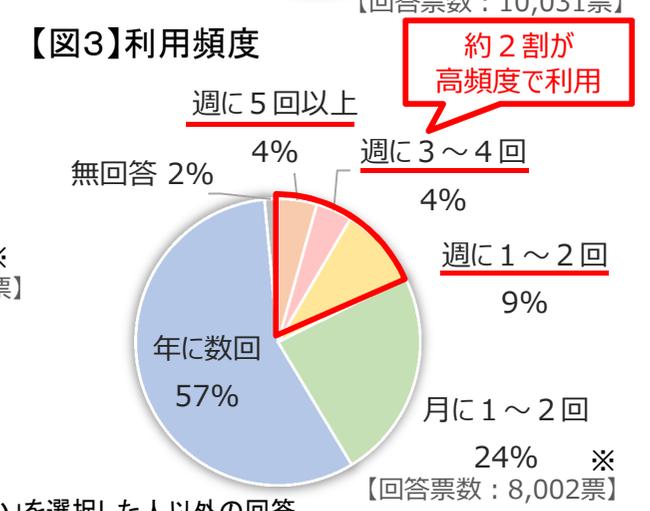
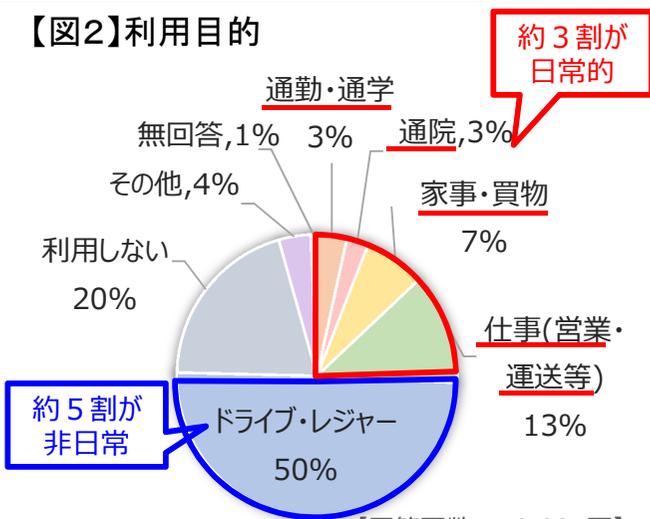
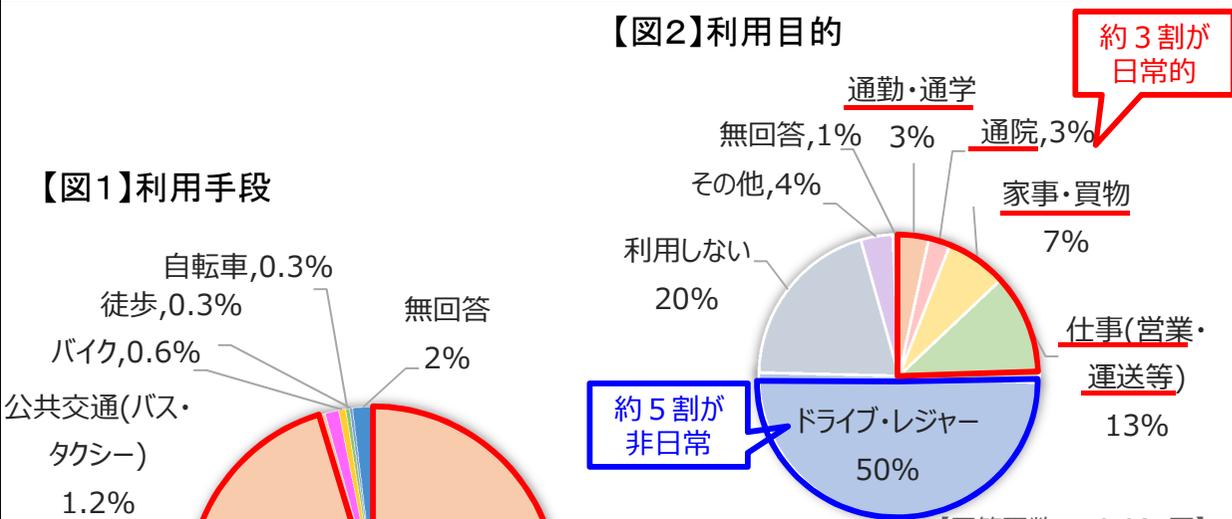
※就業率＝15歳以上の人口に占める就業者の割合

アンケート配布地域：野辺地町、七戸町、東北町、青森市、八戸市、十和田市、むつ市、横浜市

2-4. 住民等への意見聴取の結果(道路利用)

- 利用手段は「自動車」が約9割と大半を占め、日常的な利用が約3割を占めている。
- 利用頻度は、週1回以上の利用が全体で約2割を占め、特に沿線地域の野辺地町では約5割と高い。
- 「通勤・通学」などの日常的な利用目的では約9割と大半を占め、利用頻度が高くなっている。

問1 国道4号の野辺地町～七戸町間(対象区間)の道路利用について、お伺いします。



※利用手段と利用頻度は、利用目的で「利用しない」を選択した人以外の回答

2-4. 住民等への意見聴取の結果(地域課題)

- 提示した課題全てに、8割以上の方が課題を感じている回答が得られた。
- また、道路の利用頻度が高いほど提示した課題に対して共感が高くなる傾向。
- 道路の利用頻度が低めの場合でも、課題認識は高い傾向。

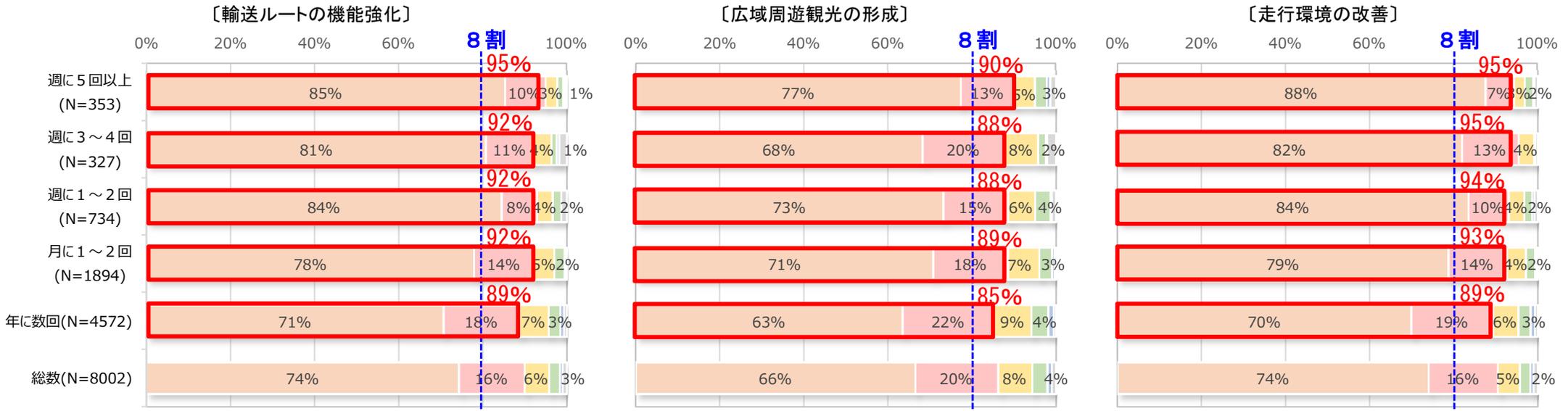
問2 国道4号の野辺地町～七戸町間(対象区間)の課題について、「必要だと思う」～「全く思わない」の5段階で評価してください。

【図1】地域の課題



【回答票数:10,031票】

【図2】利用頻度別集計



■ 必要だと思う ■ やや思う ■ どちらとも言えない ■ あまり思わない ■ 全く思わない ■ 無回答

※Nは回答票数

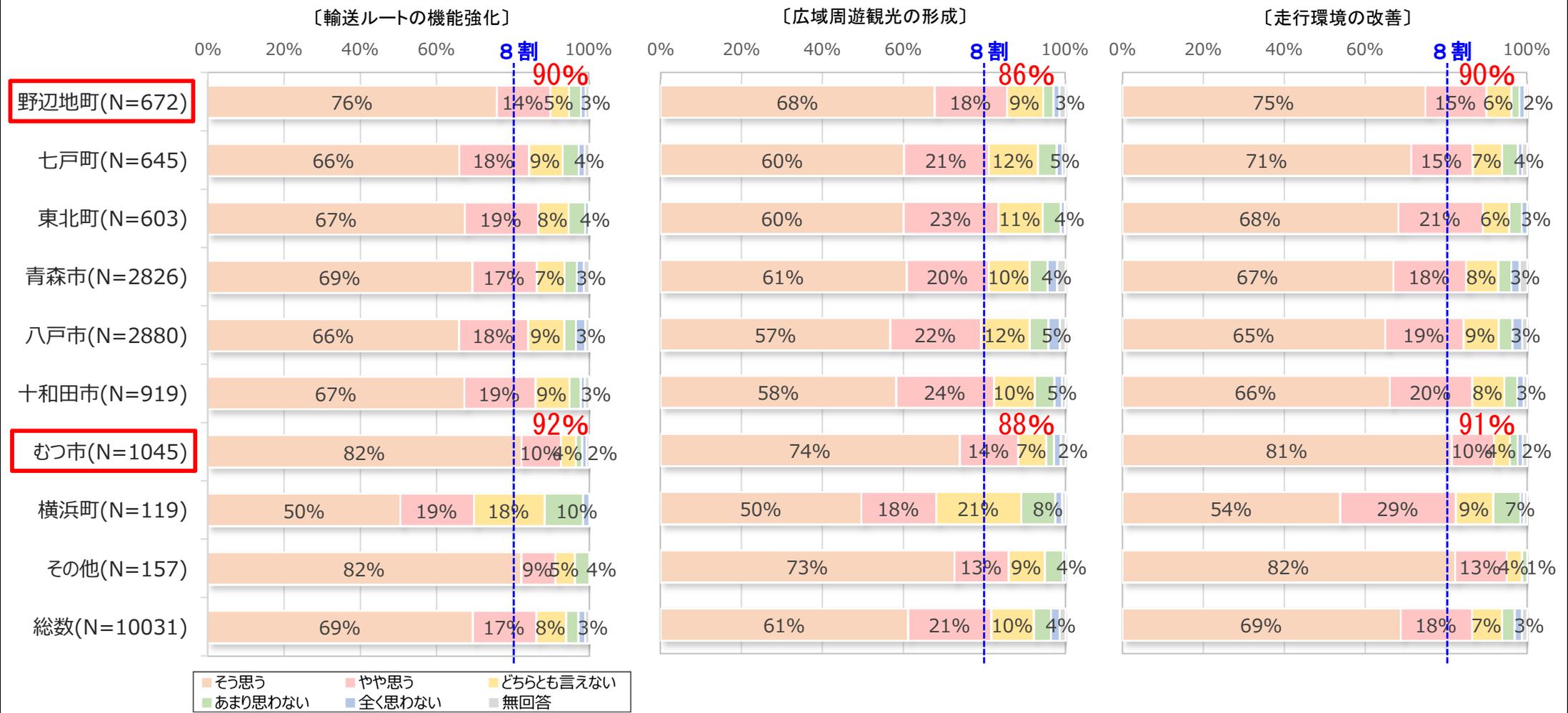
※利用目的で「利用しない」を選択した人以外の回答

2-4. 住民等への意見聴取の結果(地域課題)

- 対象地域の3町及び対象地域外ともに、8割以上が課題と感じている自治体が多く、特に「輸送ルート
の機能強化」「走行環境の改善」を課題と感じている割合が高い。
- 特に、野辺地町や下北半島に位置するむつ市で課題と感じている割合が高い。

問2 国道4号の野辺地町～七戸町間(対象区間)の課題について、「必要だと思う」～「全く思わない」の5段階で評価してください。

【図1】地域の課題



2-4. 住民等への意見聴取の結果(地域課題)

- 産業・物流については、企業誘致に関する意見、観光については、七戸十和田駅から下北半島へのアクセスに関する意見、走行環境については、冬期の安全性や道路構造面に関する意見をいただいた。
- その他については、交通の使い分けに関する意見を頂いた。

問2 ○を付けた主な理由や、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

【表1】課題に対する自由意見

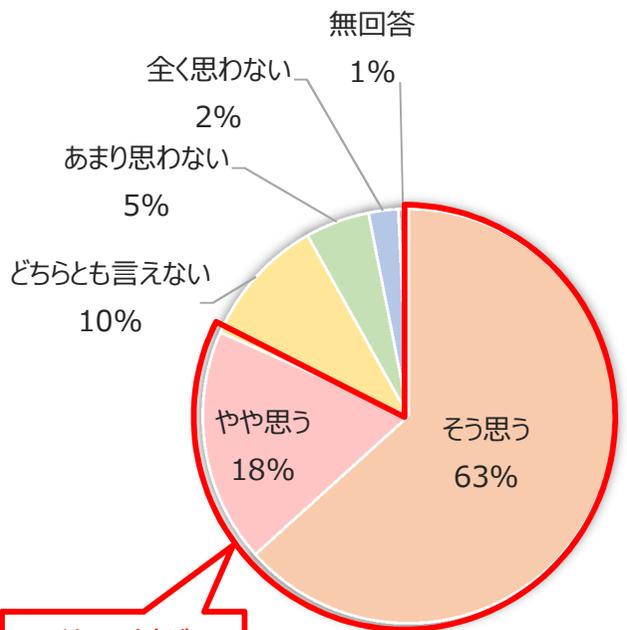
分類		主な意見
地域課題 【866件】	産業・物流 【95件】	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産(物流)及び観光推進のため、三八・上北地域及び東青地域と下北地域を高規格道路で繋ぐことは急務である。 天間林地区と野辺地町間の幹線道路は事実上国道4号のみであり事故等のトラブルが発生した場合、大幅な迂回が必要。 上北自動車道と直結しないと、下北半島における企業誘致が難しい。
	観光 【143件】	<ul style="list-style-type: none"> 下北半島の観光資源はたくさんあるので、また訪れたいと思うのだが、距離がネックでなかなか訪れづらい。 八戸方面、七戸十和田駅から下北半島までの移動時間が短縮できることで観光面には非常に良いと思う。 県内観光の移動手段としては自家用車が多いので、新幹線の駅から下北方面に素早く移動できるのは非常に良い。 冬期の交通状況が悪く、冬期観光がしづらい。
	走行環境 【628件】	<ul style="list-style-type: none"> トラック等も多く走行しているが、冬期間は路肩の積雪で道幅が狭くなり危険だなと感じる。 防災上の緊急道路としての位置づけもあると聞いているが、大型車が左端に寄って停車している状況では大型の緊急車両は通過できません。冬季は、飛行機欠航となると七戸十和田駅に向かうことになるが、野辺地周辺は吹雪になりやすいので、道路整備を希望します。 広域で移動する通過交通と、沿線に用事がある生活交通が混在しており、高低差もあるため速度に差が出やすく、混雑しやすい。 道路の幅が狭く、大型車もたくさん走っていてすれ違いが怖い、特に冬場が危険。事故が多い。
その他 【774件】	<p>【整備要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上北道、下北道の延伸は県民生活・産業に良い影響をもたらすものとして早期完成開通を願っています。 <p>【医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 途中病院などもあり、地域の住民の生活道路と、物流や人の行き来を担う幹線道路と目的を分けた使い方が出来る新しい道路があれば、混雑の解消や目的地へスムーズに向かえるのではないかと。 <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物流や観光、災害時の避難経路としてとても重要だと思います。 <p>【日常生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> 八戸市と青森市の間を自動車専用道路（できれば高速道路）でつないで、自動車通勤が楽にできるようにしてほしい。 	

2-4. 住民等への意見聴取の結果(新たな道路整備)

- 地域の課題を解決するための新たな道路整備について、約8割の方が必要であると感じている。
- 道路の利用頻度別に見ても、月に1回以上道路を利用する人の約9割が特に必要性を高く感じている。
- 居住地別に見ると、特に対象地域の3町や下北半島に位置するむつ市で必要性を高く感じている。

問3 地域の課題を解決するために、新たな道路整備が必要だと思いますか? 「そう思う」~「全く思わない」の5段階で評価してください。

【図1】新たな道路整備の必要性



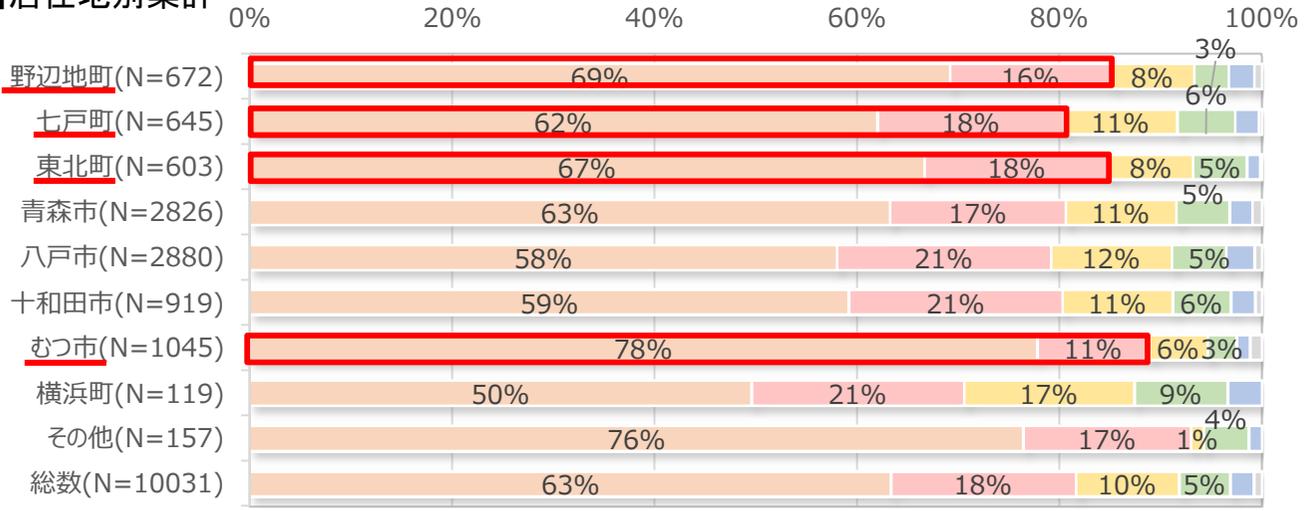
約8割が
必要性を認識

【回答票数：10,031票】

【図2】利用頻度別集計



【図3】居住地別集計



※Nは回答票数

■ そう思う ■ やや思う ■ どちらとも言えない ■ あまり思わない ■ 全く思わない ■ 無回答

2-4. 住民等への意見聴取の結果(意見・要望)

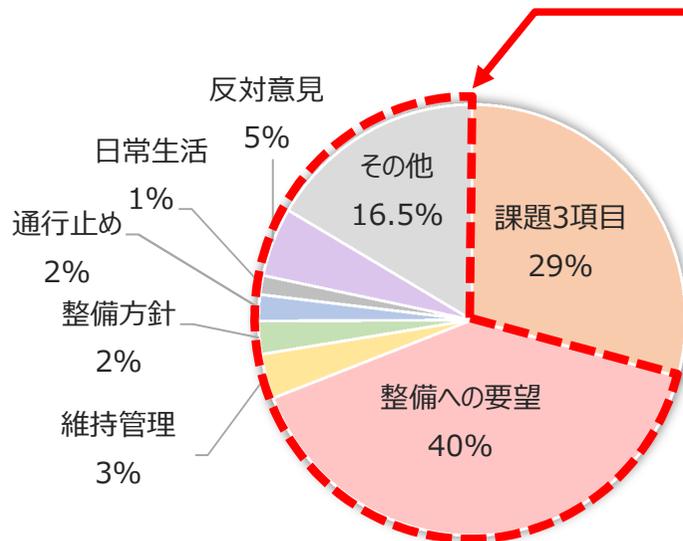
- 対象区間や周辺道路への意見・要望については、「課題3項目」に関する意見が約3割挙げられたほか、「整備への要望」に関する意見が多く、「維持管理」「整備方針」への意見も見られた。
- 「整備への要望」では、早期整備や東北自動車道八戸線との接続に関する意見が多く挙げられている。

問4 その他、国道4号の野辺地町～七戸町間に関するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

【表1】自由意見(課題3項目以外)

分類	主な意見
整備への要望 【1,114件】	<ul style="list-style-type: none"> 輸送ルート、観光拡大に向けて、東北自動車道八戸線からみちのく有料道路と下北半島縦貫道路の高速道路をつなげるが必要です。 早期事業化し八戸線との直結とともにみちのく有料道路の機能強化を検討するべきだと思います 「八戸市～青森市」も重要であり、未着手区間の早期事業着手を要望します。
維持管理 【94件】	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間の事故を防ぐため、道路の除雪や融雪剤の散布等の強化が必要です。
整備方針 【69件】	<ul style="list-style-type: none"> 接続する野辺地バイパスと天間林道路と同様に2車線で、サービス速度80km/hの構造であるべき。 片側二車線は必要ないが追越車線の整備をしてほしい
通行止め 【55件】	<ul style="list-style-type: none"> 観光・輸送もだが災害等があった場合、道路1本だけだと不安がある。 災害、交通事故等で通行止めになった時 別のルートを準備しておくことは命を守ることに必要だと思います
日常生活 【40件】	<ul style="list-style-type: none"> 防災、避難、観光、物流、商流、医療の各面からも早期に全線開通が必要。
反対意見 【145件】	<ul style="list-style-type: none"> 今後人口減少を考えれば、現在の道路の保守整備に予算を回すべきであり新しい道路は熟考し建設すべき。 対象区間が7kmと短いので効果少ないのでは。
その他 【461件】	<ul style="list-style-type: none"> 人的交流を支え、災害時の避難路として、下北縦貫道路に限らず県内の高速道路を整備してください。できれば無料で。 みちのく有料道路を含む青森八戸間の整備が進まないことには、この区間の改良の成果が現れないと思います。

【図1】自由意見の回答内訳(回答者数2,575人)



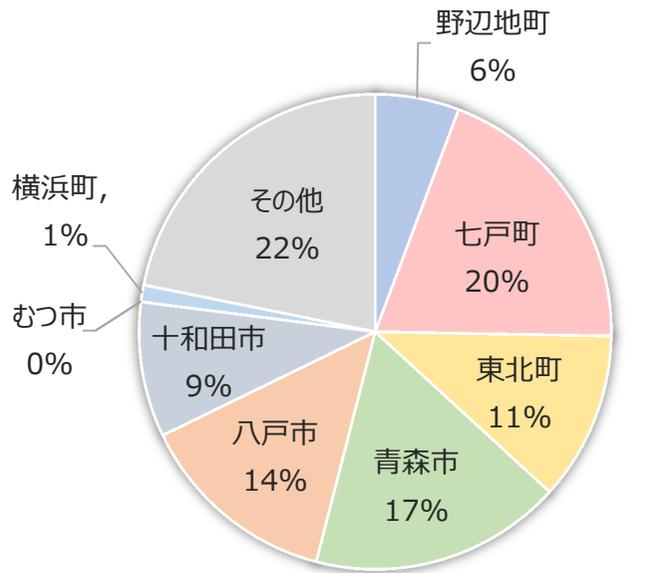
※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答者数と回答数合計は一致しない。

2-5. 事業者への意見聴取の結果(属性・道路利用)

- 対象地域及び周辺地域の事業所からの回答となっている。
- 利用目的では「運送・運搬」が約6割を占め、車種も貨物車が約6割を占める。
- 利用頻度は週に1回以上の利用が約8割を占め、住民アンケート調査結果よりも利用頻度が高く、特に「運送・運搬」目的では、約8割を占める。

質問 貴事務所についてお聞かせください。

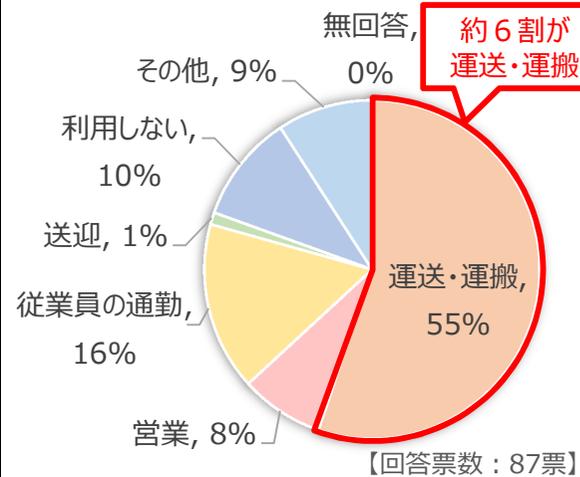
【図1】所在地



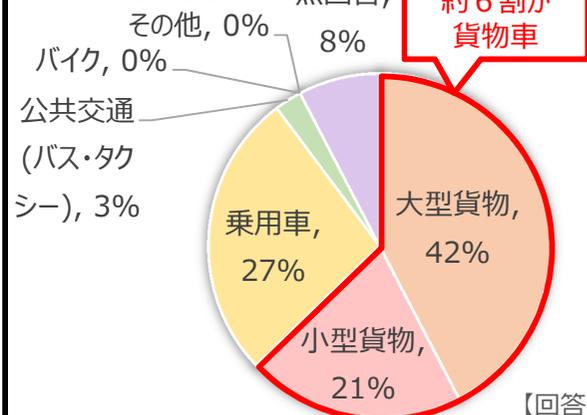
※対象区間の通行が確認された企業、野辺地町、七戸町、東北町の製造業、物流業、観光施設、公共交通機関等を対象

問1 国道4号の野辺地町～七戸町間(対象区間)の道路利用について、お伺いします。

【図2】利用目的



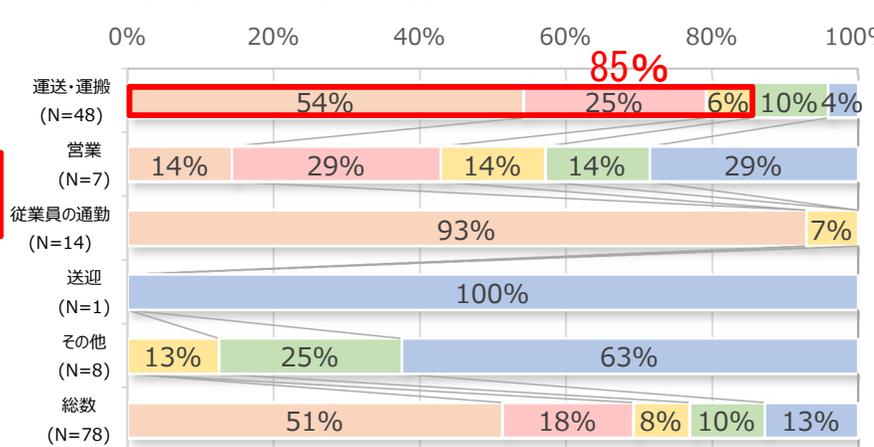
【図3】移動手段



【図4】利用頻度



【図5】利用目的別利用頻度



■ 週に5回以上 ■ 週に3~4回 ■ 週に1~2回
■ 月に1~2回 ■ 年に数回 ■ 無回答

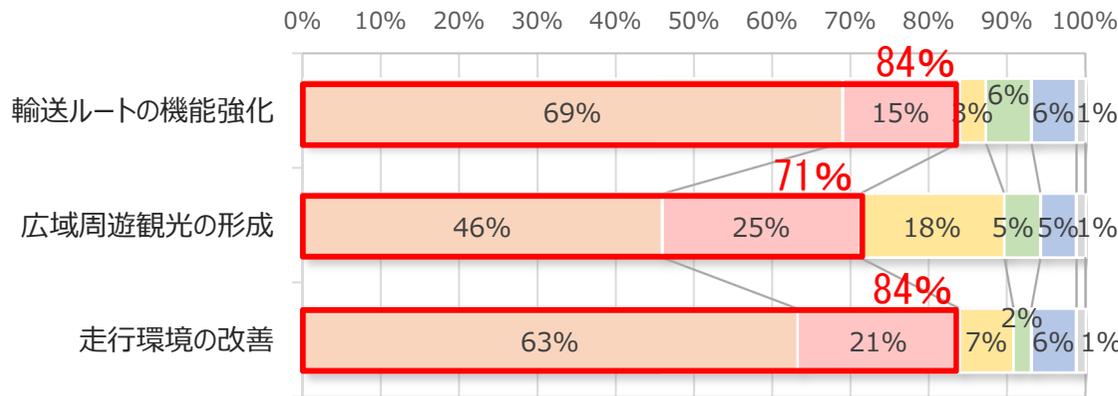
※Nは回答票数
※利用頻度・移動手段は利用目的で「利用しない」を選択した人以外の回答

2-5. 事業者への意見聴取の結果(地域課題)

○提示した課題全てに、7割以上の方が課題と感じている回答が得られた。
 ○利用目的別手段では、「運送・運搬」目的における貨物車両の利用が多く、3つの課題のなかでも「輸送ルート機能強化」を課題と感じている事業者が9割と最も高い。

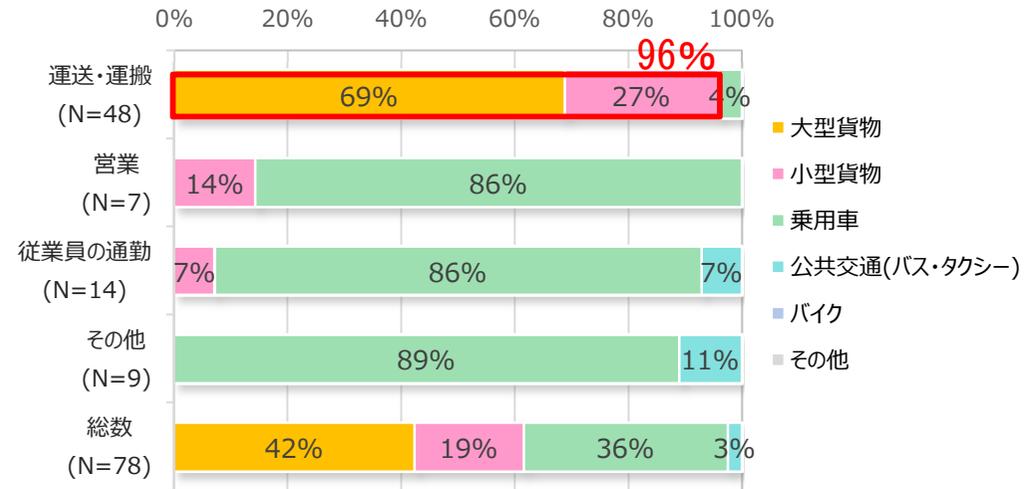
問2 国道4号の野辺地町～七戸町間(対象区間)の課題について、「そう思う」～「全く思わない」の5段階で評価してください。

【図1】地域の課題



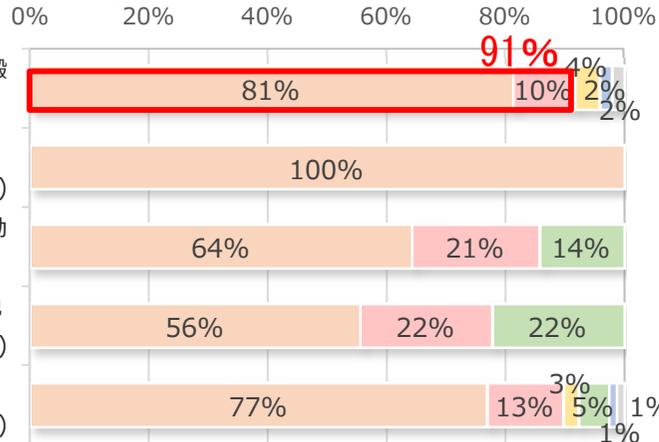
【回答票数:87票】

【図2】利用目的別手段

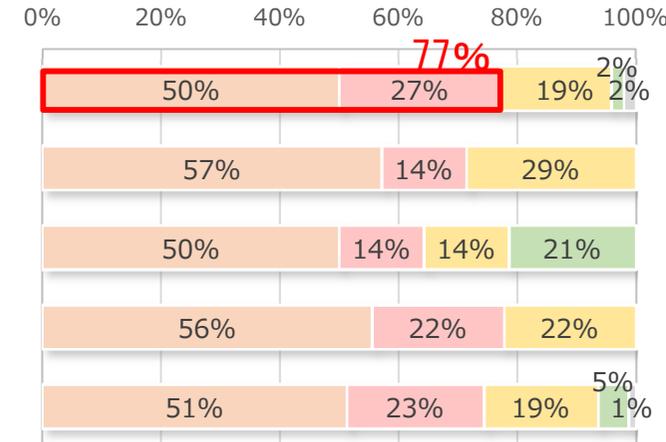


【図3】利用目的別集計

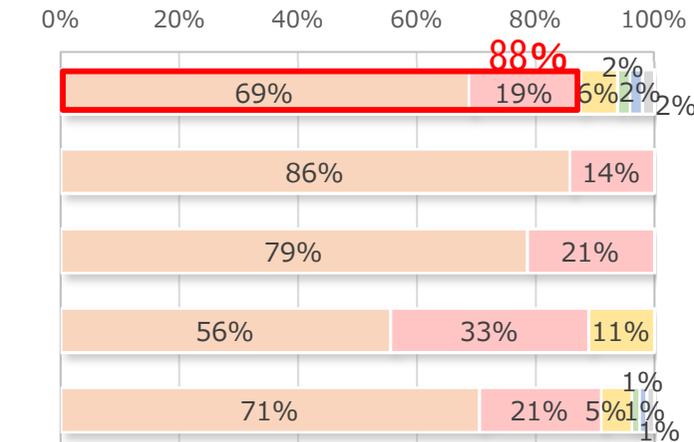
〔輸送ルートの機能強化〕



〔広域周遊観光の形成〕



〔走行環境の改善〕



必要だと思う やや思う どちらとも言えない あまり思わない 全く思わない 無回答

※Nは回答票数

※利用目的で「利用しない」を選択した人以外の回答

2-5. 事業者への意見聴取の結果(地域課題)

- 課題に対する自由意見について、「産業・物流」に関する意見が多く挙げられている。
- その他の意見では、早期完成への要望などに関する意見が見られた。

問2 ○をつけた主な理由や、地域で困っていること改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

【表1】課題に対する自由意見(回答事業所数10)

分類		主な意見
地域課題 【7件】	産業・物流 【5件】	<ul style="list-style-type: none"> 輸送ルートの時間短縮が課題になっている。 東北自動車道にダイレクトにつながることで便利になる。 つながることで利用価値が高まると思う。 有事の時4号線1本しか道路がないことは不安。分散して走行できるよう、東北自動車道に直結が必要。 下北縦貫道路を有効利用するために必要。
	走行環境 【2件】	<ul style="list-style-type: none"> 対象区間の交通の流れが悪い。 安全のためにも自動車専用道路の整備には賛成。
その他 【4件】		<ul style="list-style-type: none"> 計画されてから完成まで時間がかかりすぎる。 <p>※事業に無関係の意見については未記載。</p>

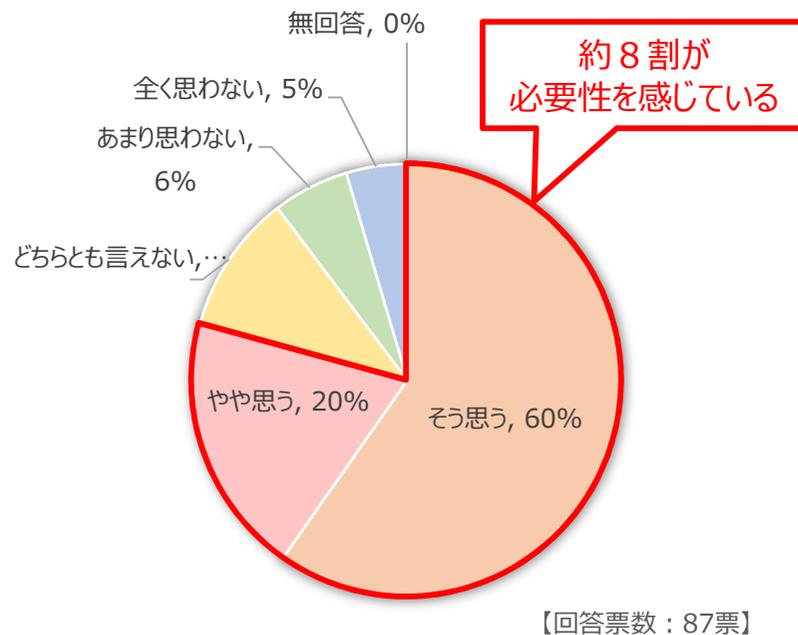
※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答事業所数と回答数合計は一致しない。

2-5. 事業者への意見聴取の結果(新たな道路整備)

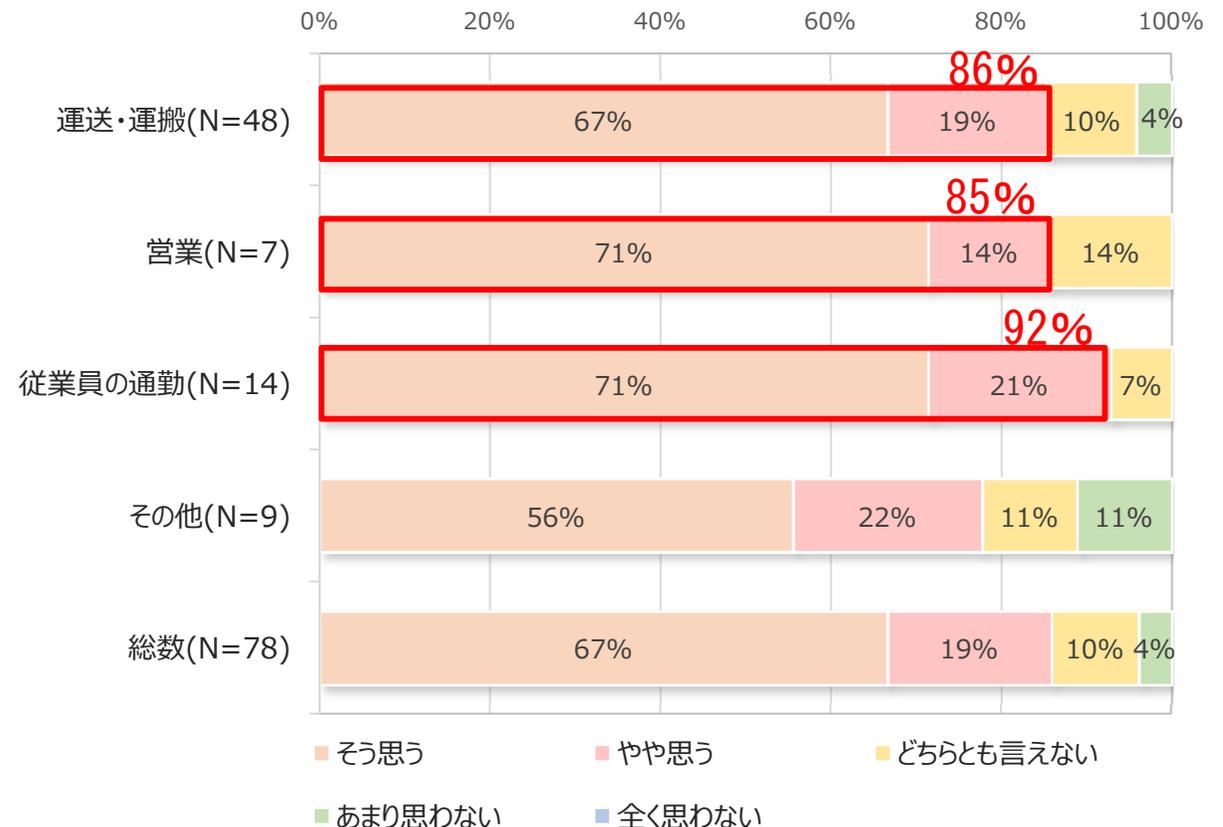
- 地域の課題を解決するための新たな道路整備について、約8割が必要であると感じている。
- 利用目的別では、「運送・運搬」「営業」「従業員の通勤」等、事業活動に関連する目的で高い必要性を感じている。

問3 地域の課題を解決するために、新たな道路整備が必要だと思いますか?「そう思う」~「全く思わない」の5段階で評価してください。

【図1】新たな道路整備の必要性



【図2】利用目的別集計



※利用目的で「利用しない」を選択した人以外の回答

2-5. 事業者への意見聴取の結果(意見・要望)

○意見・要望では、「整備への要望」が多く見られた。

問4 その他、国道4号の野辺地町～七戸町間に関するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

【表1】自由意見(回答事業所数12)

分類	主な意見
整備方針 【2件】	<ul style="list-style-type: none"> 片側1車線ではなく<u>2車線にして欲しい</u>。 対象区間については、やはり<u>接続した方がよい</u>かと思います。
維持管理 【2件】	<ul style="list-style-type: none"> 冬季の夜間の<u>路面凍結の対策強化</u>。 この区間は豪雪が予想されると思うのでその対策が必要と思います。
整備への要望 【8件】	<ul style="list-style-type: none"> 県内の観光を進める為にも<u>早い開通を願います</u>。 有事の際を考えると絶対に必要であると思います。 <u>物流</u>についても然り、<u>医療体制が弱い地域であるため患者を陸搬送時を考えると整備が必要</u>。 下北道と上北道が繋がれば、一般道に降りなくて済む。
反対意見 【0件】	

※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答事業所数と回答数合計は一致しない。

2-6. 関係団体ヒアリングの結果

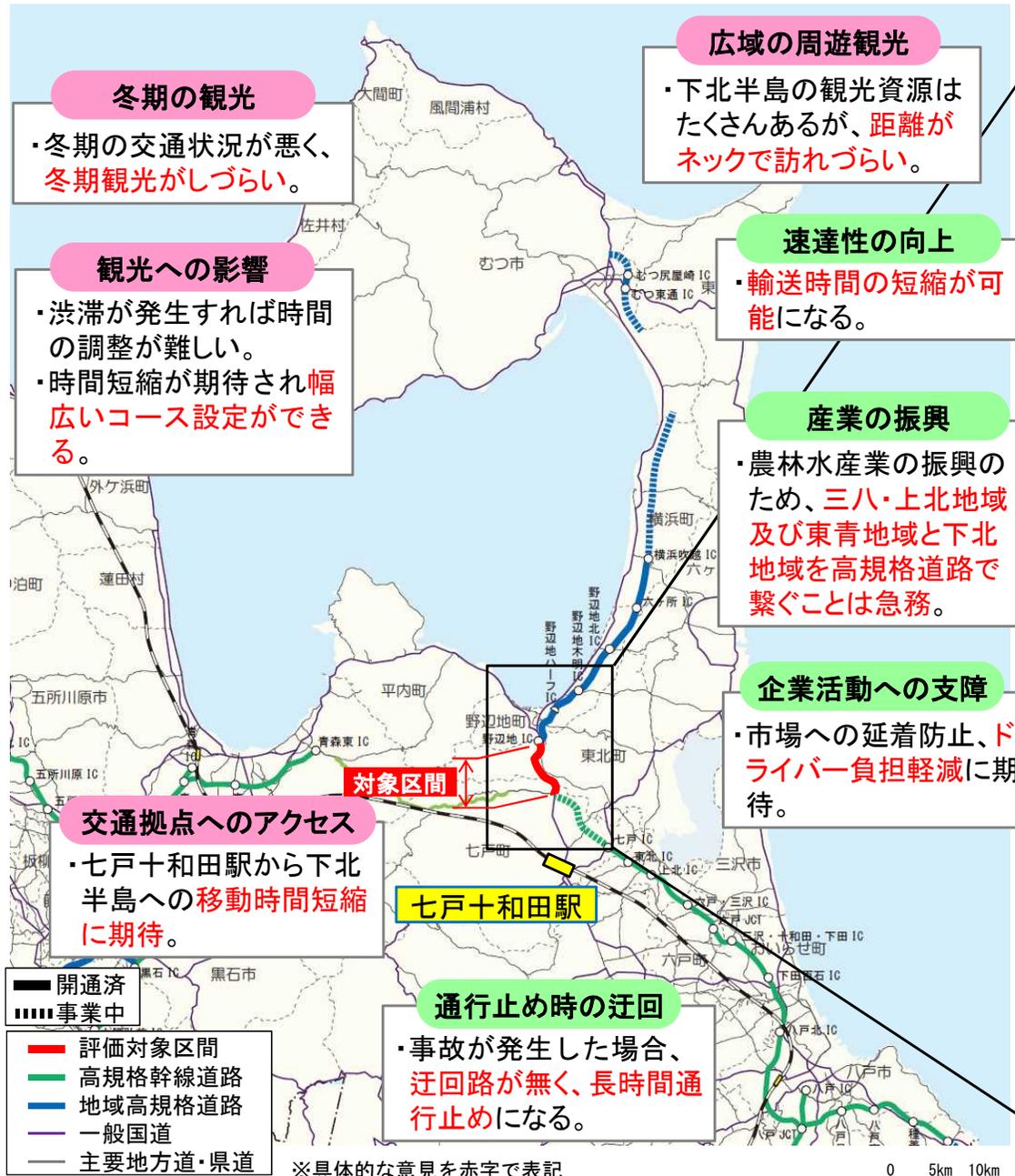
- 産業・物流は、販路拡大やコスト縮減、生産性向上、ドライバー負担の軽減等のほか、輸送時間短縮に期待する声が挙げられている。
- 観光は、時間短縮やそれによる幅広いコース設定、下北半島の観光需要の広がり等が挙げられている。
- 走行環境は、カーブ・アップダウンや冬期走行環境、冬期交通事故を懸念する声が挙げられている。

【表1】関係機関による主な意見

分類		主な意見
課題 に対する 意見	産業・ 物流	<ul style="list-style-type: none"> 産業・物流関連等の各種事業者に通じて、事業実施におけるコスト縮減や、販路拡大等による増益の効果が期待できる。(自治体) 市場への延着防止、出荷時間に余裕ができることで職員の早出出勤の緩和、ドライバーの負担軽減の効果が期待。(農業関係団体) 貝殻付活ほたてを関東、関西エリアや豊洲市場に出荷しているが、長時間輸送による品質の低下が心配。(漁業関係団体) 下北半島縦貫道路(野辺地～七戸間)は県南・上北と県都青森、むつ下北方面を結ぶ交通の要衝である。(商工関係団体) ドライバーには厚生労働省告示による1日の運転時間の上限が定められており、たとえ15分の時間短縮でも、これまで1日1往復にとどまっていた輸送が、2往復可能になるなどの生産性向上が見込まれる。(物流関係団体) 同区間で事故が発生した場合、迂回路がなく、長時間通行止めになる(運送事業者) 下北半島縦貫道路が全線整備され、横浜町内の工場付近から利用できるようになれば、輸送時間の短縮が可能になる(製造業者)
	観光	<ul style="list-style-type: none"> 主要ルートが国道4号・下北半島縦貫道路であり、他の選択肢がなく、混雑時も、本ルートを使用するほかない。(観光関係団体) 下北半島縦貫道路の開通により、渋滞緩和などで観光コース等の作成時間短縮などの効果が期待され、幅広いコース設定ができる。(交通事業者) 当該区間は渋滞や事故が多く、渋滞が発生すれば時間の調整は難しい。道路環境が改善すれば、冬期の下北観光需要も広がる。(交通事業者) 下北半島縦貫道路の横浜～むつ間が開通し、併せて野辺地～七戸～下田百石IC迄が繋がれば、より多くの方を、観光で迎え入れ、又、送り出す事が出来ると思う。(交通事業者)
	走行 環境	<ul style="list-style-type: none"> 高規格の道路構造に基づく道路ネットワークが形成されるため、人身事故等、大きな社会的損失を回避することが可能となる。(自治体) 通行止めになった場合の迂回路の機能が脆弱である。(商工関係団体) アップダウンが多く、車両横転、トレーラ事故等の発生が懸念。(物流関係団体) 積雪地帯であり、冬期間の登坂不能、路外逸脱、地吹雪による視界不良や路面凍結による交通事故発生の危険性が高い。(物流関係団体) 積雪により幅員が狭くなるため、対向車との事故の危険性がある。ホワイトアウトで前方との車間距離がとりにくい。(観光関係団体) 一部、山間部を走るため見通しも悪く、日陰になる部分やカーブが多い。(林業関連団体) 同区間で事故が発生した場合、迂回路がなく、長時間通行止めになるため、高規格道路の完成は、大きな意義をもつ。(運送事業者) 野辺地町在住の利用者の送迎や入所者の七戸町の医療機関への通院に国道4号を利用しているが、大型車が多いことや、冬期に地吹雪で視界が悪くなることで、怖いと思うことがある。(福祉事業者)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 自動車専用道路として下北半島縦貫道路は、生活・観光・経済、いざというときの防災面でも重要・必要性が高い。(観光関係団体) 大型トラックは、空車になると、多少の坂道の走行が厳しくなります。出来る限り、高低差の少ない道路にして頂きたい。(物流関係団体) 	

2-7. 地域の意見聴取(第1回)の結果のとりまとめ

【図1】意見聴取結果(課題図)



【対象区間拡大図】



2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理(産業・物流)

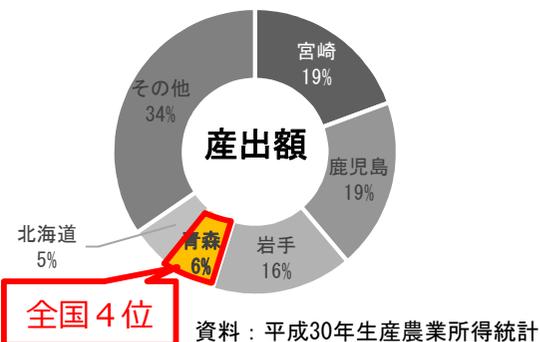
- 青森県はブロイラー（※）産出額が全国4位であり、県内の主要産地である横浜町の製造業者では、種鶏農場から処理工場までの一貫した生産体制で主に東日本に鶏肉を供給し、農場増設計画もある。
- 当該区間は、通行止め時に広域迂回を要するため、主な出荷先の東北・関東方面へは、国道338号を利用しているものの、こちらも冬期の事故や通行止めリスクを有する。
- 下北半島縦貫道路の整備により代替機能が確保され、輸送ルートの転換による輸送時間の短縮や冬期のリスク改善が期待。

製造業者（横浜町）の事業概要

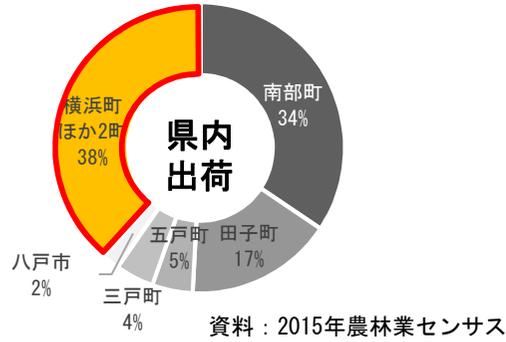
- 事業内容は主に鶏の育成・処理・販売
- 処理羽数は**年間約1,100万羽**（1羽約3kg換算）
- 2020年6月には、横浜町内に16か所目のブロイラー農場増設計画が公表され、新たに約18万羽を飼育する計画。

資料：製造業者HP、R2製造業者ヒアリング結果

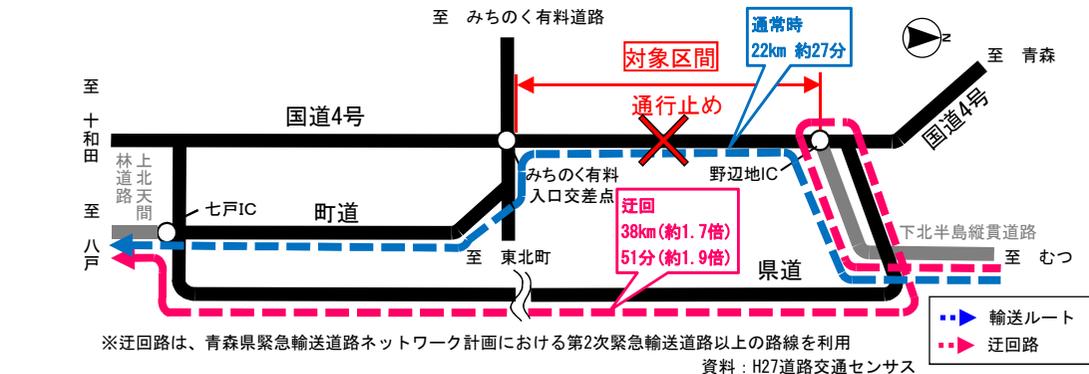
【図1】県別ブロイラー産出額割合



【図2】青森県市町村別ブロイラー出荷割合



【図3】対象区間通行止め時の距離および所要時間（野辺地IC～七戸IC間）

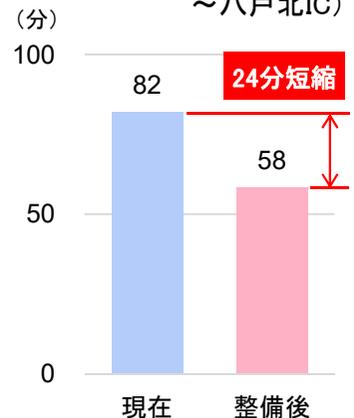


【図4】鶏肉の出荷ルート



※ブロイラー：短期間で出荷できる肉用若鶏

【図5】所要時間の変化（横浜町処理工場～八戸北IC）



※下北半島縦貫道路、上北自動車道事業中区間は80km/hで算出
資料：H27道路交通センサス

《製造業者の声》

- ・ 下北半島縦貫道路が全線整備され、横浜町内の**工場付近から利用できるようになれば、輸送時間の短縮が可能**になる。
- ・ 冬期は一般道の走行に事故等のリスクがあるので、下北半島縦貫道路が整備されれば**冬期間のリスク改善が期待**される。

資料：R2製造業者ヒアリング結果

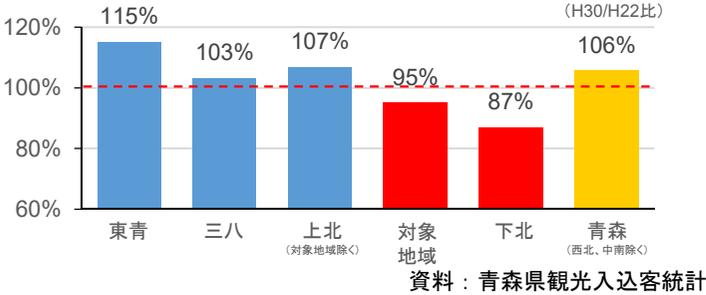
2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理(観光)

- 対象地域・下北地域には、広範囲に豊富な観光資源が点在する一方で、近年の観光入込は低迷。
- 下北半島は、七戸十和田駅からの二次交通をはじめ、自動車による来訪が大半を占めており、対象区間は、下北半島への周遊観光ルートを担当する重要な区間であるものの、移動時間やアクセス性が課題。
- 地元観光団体による観光誘客に向けた取り組みも進められており、下北方面への広域周遊観光の促進に向け、幅広いコース設定が可能となる、当該区間を含む高速道路ネットワークの整備が期待されている。

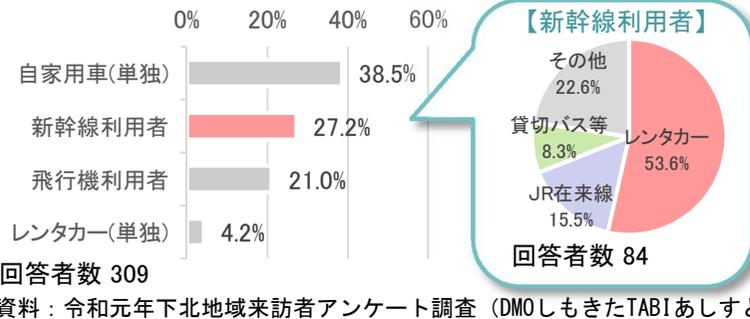
【図1】上北・下北地域の観光資源とバスツアー例



【図2】上北・下北地域の観光入込状況



【図3】下北地域への観光客の移動手段



観光関係団体 (DMO) の取組状況

- ランナーズヴィレッジわきのさわ (農家体験など地域の観光資源を活かしたランナー向け観光パッケージ) の実施
- 下北ジオダイニング (地元食材を使ったダイニングイベント) の開催



▲ランナーズヴィレッジわきのさわイベント開催状況

資料：R元観光関係団体ヒアリング結果、観光関係団体HP、東北DCHP

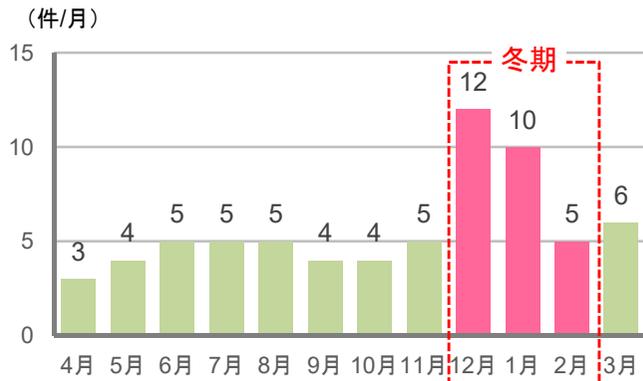
《観光関係団体・バス事業者・観光客の声》

- 下北半島へのルートは**国道279号か下北半島縦貫道路に限られる**。青森県内の移動は主に車を使用するケースが多く、**時間短縮など観光面での利便性**の観点から、自動車専用道路としての下北半島縦貫道路の重要性・必要性は高い。(むつ市観光関係団体)
 - 下北半島縦貫道路の開通により、**渋滞緩和などで観光コース等の時間短縮などの効果が期待され、幅広いコース設定ができる**。(バス事業者)
 - 青森県内の**観光の移動手段として自動車が多い**ので、**新幹線駅から下北方面に早く移動できる**のは非常に良い。(観光客)
- 資料：R2観光関係団体、バス事業者ヒアリング、住民意見聴取結果

2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理(走行環境)

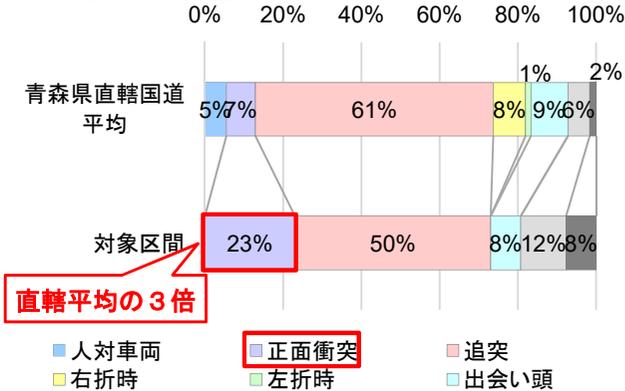
- 対象区間は、堆雪による道路幅員減少や路面凍結・地吹雪等、特に冬期において走行環境が悪化。
- 冬期に死傷事故が多く、正面衝突の発生割合は青森県内直轄国道平均の約3倍。
- 対象区間は青森県内の死傷事故率（幹線道路）より高い信号交差点が5カ所存在。
- 冬期の幅員減少等による事故リスクを低減し、冬期安全性の向上、冬期走行環境の改善が必要。

【図1】 月別死傷事故発生件数



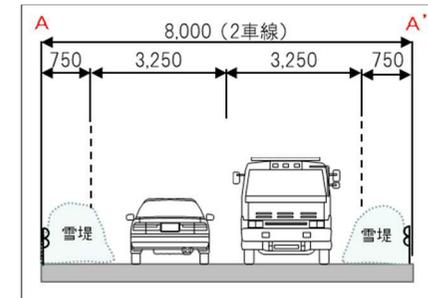
資料：イタルダデータ (H21~H30)

【図2】 事故類型別発生割合 (冬期)



資料：イタルダデータ (H21-H30)、冬期(1~2月、12月)

【図4】 幅員状況



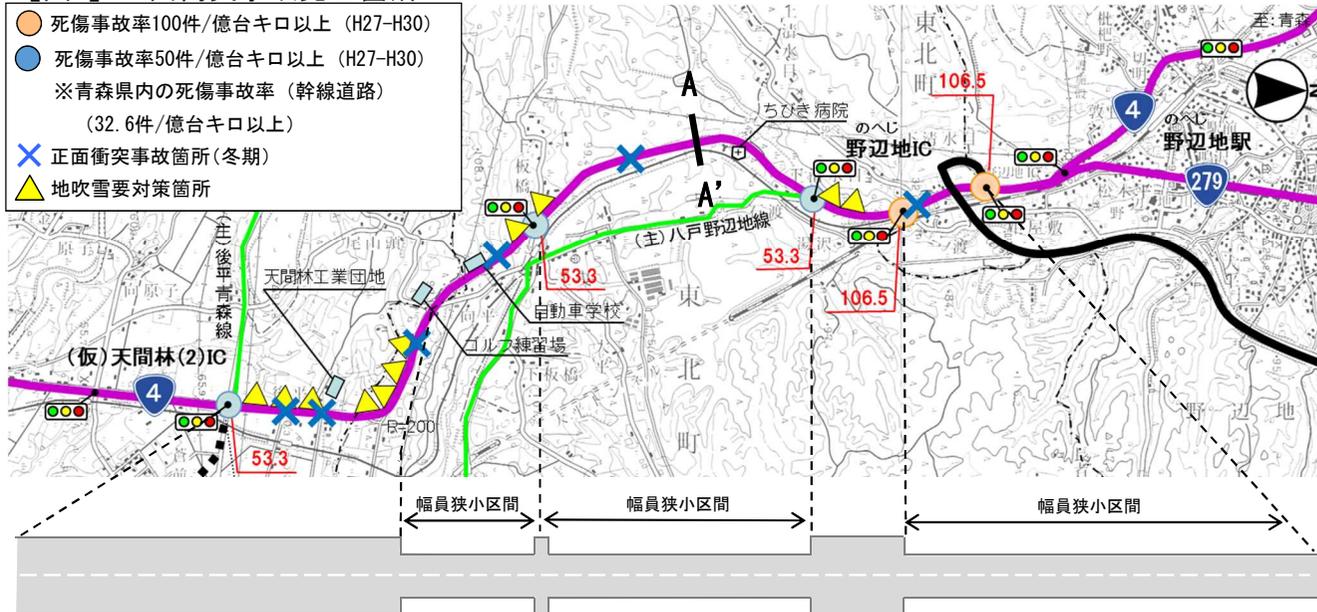
▲【写真1】 冬期幅員減少状況



▲【写真2】 冬期事故状況

【図3】 正面衝突事故発生箇所

- 死傷事故率100件/億台キロ以上 (H27-H30)
- 死傷事故率50件/億台キロ以上 (H27-H30)
- ※青森県内の死傷事故率(幹線道路) (32.6件/億台キロ以上)
- ✕ 正面衝突事故箇所(冬期)
- ▲ 地吹雪要対策箇所



《物流関係団体・観光関係団体・地域住民の声》

- ・冬期間の登坂不能、路外逸脱等交通事故の危険性が高い。(物流関係団体)
- ・積雪により幅員が狭くなるため、対向車との事故の危険性がある。(観光関係団体)
- ・トラック等も多く走行しているが、冬期間は路肩の積雪で道幅が狭くなり危険だなと感じる。(地域住民)

資料：R2運送事業者・商工関係団体ヒアリング結果

2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理(道路交通・地域の課題とその原因)

【表1】道路交通・地域の課題とその原因 (第1回委員会提示案に意見聴取内容を反映)

	課 題	原 因
産業 ・ 物流	<p>○広域的な物流ネットワークの機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の成長産業と高付加価値資源の流通を支える安定した物流ネットワークの拡充と強化が必要 新たな企業立地を促し地域の工業振興を支える広域ネットワークの拡充と強化が必要 輸送時間短縮や通行止めリスクの少ない、安定した道路ネットワークの確保が必要 	<p>○幹線道路ネットワークにミッシングリンクが存在</p> <p>○通行止め発生時の代替路の未確保</p>
観光	<p>○広域観光ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 新幹線を利用する観光客に対し、地域の広域観光拠点へ連絡するネットワーク強化が必要 上北・下北地域全体への広域観光周遊ルート形成に資する道路ネットワークが必要 	<p>○新幹線駅と観光地を結ぶ道路ネットワークが不十分</p>
走行環境	<p>○道路機能の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> むつ市～八戸市に至る拠点間を移動する広域交通に対し、走行速度が低く交通事故も多発しており機能向上が必要 冬期の幅員減少などによる交通事故リスクの低減が必要 	<p>○対象区間がボトルネックとなり広域交通の走行環境を阻害</p>

政策目標
(素案)

安定した物流を支えるルートの確保

広域観光を支えるルートの確保

道路走行環境の改善

3. 政策目標の設定

3-1. 政策目標の設定

○地域への意見聴取（第1回）の結果から、「安定した物流を支えるルートの確保」「広域観光を支えるルートの確保」「道路走行環境の改善」の3項目を政策目標とする。

	産業・物流	観光	走行環境
地域・道路の状況と課題	○広域的な物流ネットワークの機能強化	○広域観光ネットワークの構築	○道路機能の向上
地域の将来像	<ul style="list-style-type: none"> ◆生産体制の強化・拡大(農業) ◆消費・流通対策の強化・拡大(水産業) 【第5次野辺地町まちづくり 総合計画後期基本計画】 ◆農業畜産業の振興 【第2次七戸町長期総合計画】 ◆農畜産物の流通体制、水産物の加工・流通体制の充実 【第2次東北町総合振興計画】 	<ul style="list-style-type: none"> ◆世界から選ばれる「あおもりツーリズム」の促進 【青森県基本計画】 ◆観光ルートなどの開発 【第5次野辺地町まちづくり 総合計画後期基本計画】 ◆観光ネットワークの整備 【第2次七戸町長期総合計画】 ◆広域観光体制の充実 【第2次東北町総合振興計画】 	<ul style="list-style-type: none"> ●県都青森市と地方生活圏中心都市間 ●地方生活圏中心都市と圏域内市町村間 ●高規格道路ICへの到着時間 ⇒概ね1時間 【青森県の幹線道路網計画 青い森のみちづくり(2020版)】
住民や事業者への意見聴取結果	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の約9割、事業者の約8割が課題と認識 ・「事故等による通行止め時の迂回に期待」、「輸送時間の短縮」等の意見が寄せられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の約8割、事業者の約7割が課題と認識 ・「下北半島の観光地への移動時間短縮」、「冬期の交通状況が悪く、冬期観光のしづらさ」等についての意見が寄せられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の約9割、事業者の約8割が課題と認識 ・「冬期走行時の危険性」、「冬期幅員の減少」等についての意見が寄せられた。

政策目標

安定した物流を支える
ルートの確保

広域観光を支える
ルートの確保

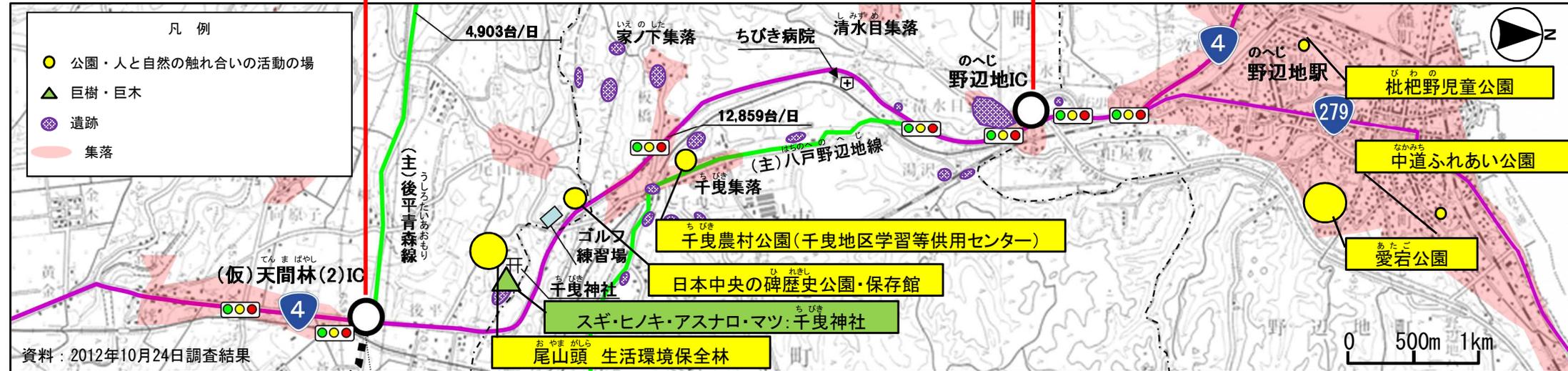
道路走行環境の
改善

4. 対応方針(ルート帯案)の検討

4-2. 対策案のコントロールポイントの考え方(その他事項)

○既往調査結果から重要な動植物が分布しているため、影響を軽減する必要がある。

対象区間(野辺地~七戸) 約7km



植物

■周辺で確認されている重要種

- ・サナギイチゴ (環境省:絶滅危惧Ⅱ類)
- ・イトモ (環境省:準絶滅危惧、青森県:Bランク)
- ・キンセイラン (環境省:絶滅危惧Ⅱ類、青森県:Bランク)
- ・サルメンエビネ (環境省:絶滅危惧Ⅱ類、青森県:Aランク)

他

動物

■周辺で確認されている重要種

- ・オオタカ (環境省:準絶滅危惧、青森県:Bランク)
- ・ハイタカ (環境省:準絶滅危惧、青森県:Bランク)
- ・タナゴ (環境省:絶滅危惧ⅠB類、青森県:Aランク)
- ・マルタニシ (環境省:絶滅危惧Ⅱ類)
- ・ニホンザリガニ (環境省:絶滅危惧Ⅱ類、青森県:Bランク)

他



サルメンエビネ(環境省:準絶滅危惧Ⅱ種、青森県:Aランク)

ラン科、日本での分布は北海道・本州・四国・九州のブナ帯落葉樹林下にある。県内では、人による採取がなされていない場所では群生が見られるが多くの地域では姿が見られなくなっている。



タナゴ(環境省:絶滅危惧ⅠB類、青森県:Aランク)

コイ目コイ科、最大でも全長10cm程度の小魚。本種は日本固有種で関東以北の本州太平洋側にのみ分布し、県内でも太平洋側の池や河川に限られる。繁殖の際には二枚貝を必要とする。

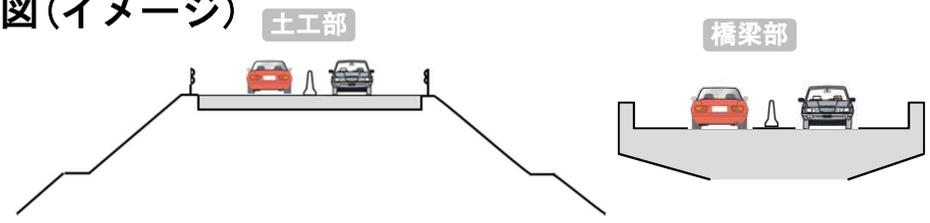
4-3. ルート帯案の検討【A案:バイパスルート】

○全線を別線で整備し、地域・現道課題の解消を図る。

■整備概要

延長	約7km	設計速度	V=80km/h
構造	土工、橋梁等	コスト	約280~310億円

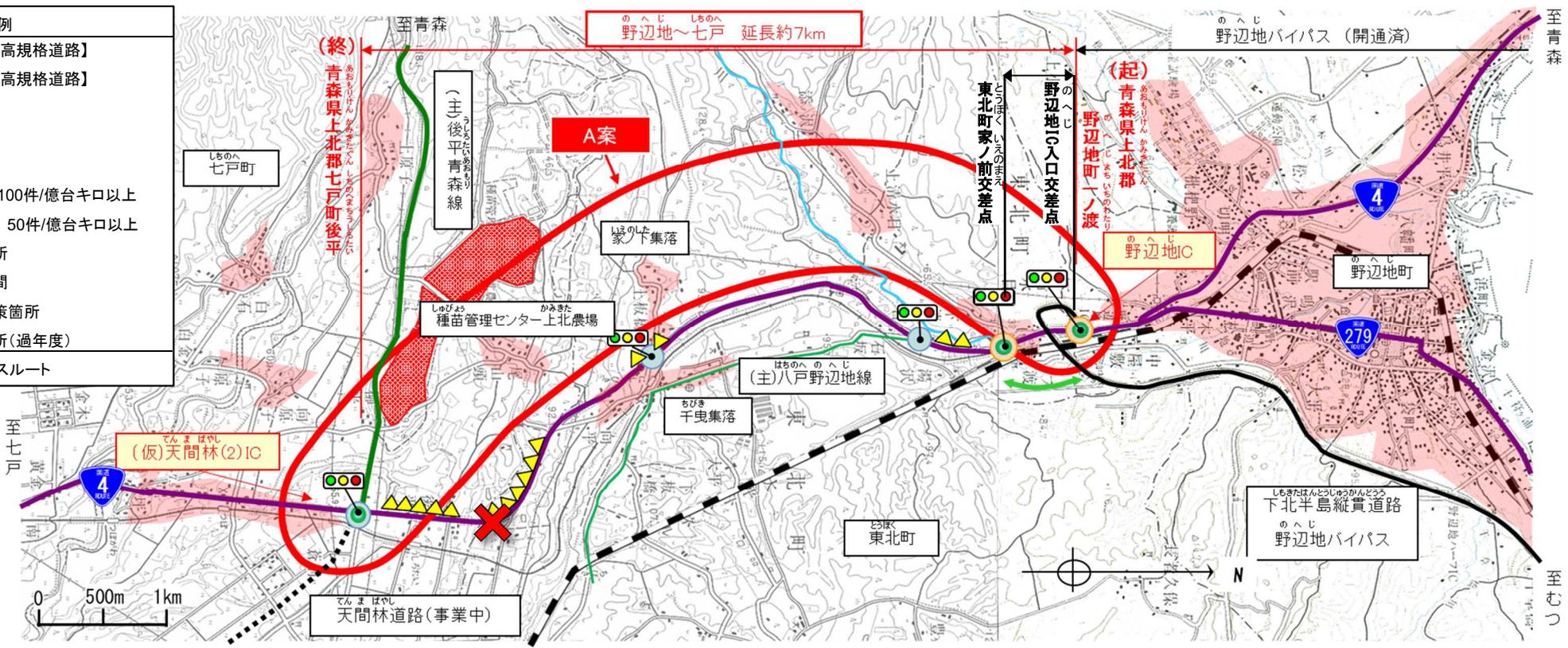
■断面図(イメージ)



■ポイント

- 内容**
- 全線別線整備により、災害・事故による通行止め時に**代替機能を確保**
 - アクセスコントロールされた別線整備により、沿道の出入り交通や信号交差点を回避するための**速達性が向上**
 - 別線整備により死傷事故率が高い箇所を全て回避し、**事故リスクが大幅に低減**
 - 出入箇所が起終点に限られるため、**集落から本線へのアクセス性は劣る**
 - 現道の工事は接続部のみであるため、施工時の**現道交通への影響はほとんどない**

凡例	
	供用中区間【高規格道路】
	事業中区間【高規格道路】
	一般国道
	主要地方道
	集落
	死傷事故率 100件/億台キロ以上
	死傷事故率 50件/億台キロ以上
	主要渋滞箇所
	主要渋滞区間
	地吹雪要対策箇所
	通行止め箇所(過年度)
	A案 バイパスルート



4-4. 評価項目の設定

- 政策目標を達成するために求められる機能について整理し、評価項目を設定した。
- 配慮すべき事項については、既存文献を参考に評価項目を設定した。

【表1】評価項目の設定

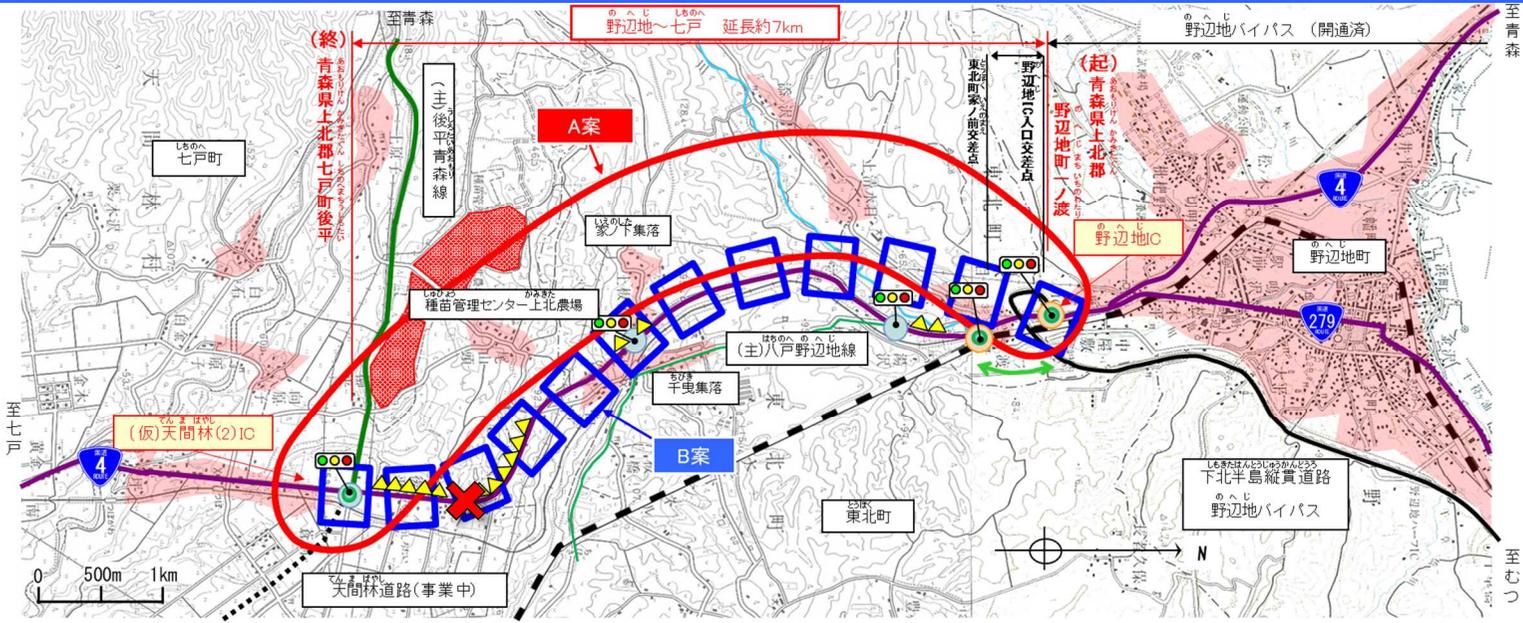
課題	政策目標	必要な機能	評価項目
産業・物流	安定した物流を支えるルート確保	主要幹線道路として貨物車が円滑に通行できる安定した物流ルートを確保し、農林水産業をはじめとした産業や工業の振興を支援する道路	<ul style="list-style-type: none"> ・通行止めリスクの低減 ・代替機能の確保
観光	広域観光を支えるルート確保	下北地域を含めた広域観光拠点への連絡を強化し、広域観光の活性化を支援する道路	<ul style="list-style-type: none"> ・広域移動での速達性
走行環境	道路走行環境の改善	速度低下の改善や事故の減少を図り、主要幹線道路としての機能を強化する道路	<ul style="list-style-type: none"> ・事故リスクの低減 ・走行快適性の向上

【表2】配慮すべき事項の設定

配慮すべき事項	評価項目
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・現道沿い家屋への影響
沿道環境	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道出入など沿線住民への影響
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地形・自然環境の改変
工事の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・現道交通への影響
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・整備に関する費用

4-5. 対策案の比較

凡例	
	供用中区間【高規格道路】
	事業中区間【高規格道路】
	一般国道
	主要地方道
	集落
	死傷事故率 100件/億台キロ以上
	死傷事故率 50件/億台キロ以上
	主要渋滞箇所
	主要渋滞区間
	地吹雪要対策箇所
	通行止め箇所(過年度)
	A案 バイパスルート
	B案 現道改良ルート



比較項目			【A案】バイパスルート 約7km	【B案】現道改良ルート 約7km
各ルートの概要			全線を別線で整備し、地域・現道課題の解消を図る 設計速度80km/h	現道の4車線拡幅および一部別線整備により、現道課題の解消を図る 設計速度60km/h
政策目標	産業・物流	安定した物流を支えるルートの確保	・全線別線で整備されることにより、災害・事故による通行止め時に代替機能が確保される	・4車線整備により通行止めリスクが低減するが、代替機能は確保されない
	観光	広域観光を支えるルートの確保	・アクセスコントロールされた別線を整備することにより、沿道の出入り交通や信号交差点を回避するため速達性に優れる	・現道改良のため、沿道の出入り交通や信号交差点が残り、A案より速達性に劣る
	交通	道路走行環境の改善	・別線整備により、死傷事故率が高い箇所を全て回避し、事故リスクが大幅に低減する	・上下線分離により、正面衝突事故等の事故リスクが大幅に低減するが、信号交差点が残るためA案より走行環境に劣る
配慮すべき事項	生活環境	沿道家屋への影響	・現道の交通が減少するため、生活環境が改善される	・現道改良区間で集落等を通るため、沿道家屋等への影響は改善しない
	沿道環境	沿道沿線住民への影響	・出入箇所が起終点に限られるため、集落から本線へのアクセス性は劣る	・沿道集落から本線へのアクセス性に優れる
	自然環境	自然環境への影響	・全線バイパス区間となり山林地帯の改変が大きくなる	・現道改良となるため山林地帯の改変は生じない
	工事の影響	現道交通への影響	・現道の工事は、接続部のみであるため施工時の現道交通への影響はほとんどない	・施工時に比較的長い区間で交通規制が必要となるため、現道交通への影響は大きい
	コスト	整備に関する費用	280~310億円	250~280億円

5. 第2回地域の意見聴取の方法

5-1. 地域の意見聴取(第2回)の内容

○地域の意見聴取（第2回）の内容は、地域や道路交通の課題を解消するために示したルート帯案が、地域のニーズを十分に踏まえたものとなるよう、ルート帯案を検討する際に、重視すべき項目に関する質問を設定。

1. 地域の意見聴取（第2回）の内容

調査項目	把握する内容	回答方法	備考
1. 属性	性別、第1回アンケートへの回答の有無、職業	選択式（単一回答）	第1回と同様の意見聴取項目
	年齢、住所	選択式（単一回答）	
2. 国道4号の利用状況について	主な利用目的	選択式（単一回答）	第1回と同様の意見聴取項目
	主な移動手段	選択式（単一回答）	
	利用頻度	選択式（単一回答）	
3. ルート帯案を検討する際に重視すべき項目	どのようなことに重視して計画をすべきか	選択式（複数回答）	第2回意見聴取項目
	その他に重視すべき事項は	自由回答	
4. 重視すべき理由等	3. で回答した項目に対する具体的意見	自由回答	第2回意見聴取項目

5-2. 地域の意見聴取(第2回)の対象者と方法

2. 意見聴取の対象(案)

■アンケートによる意見聴取の対象(案)

調査対象者		調査手法・規模
地域住民	・野辺地町、七戸町、東北町	・対象地域に広報紙折り込み※で全戸配布(約2万世帯)
	・青森市、八戸市、十和田市、むつ市、横浜町	・対象区間の利用が多い地域を対象に抽出郵送配布(約2万世帯)
事業所等	・対象区間の利用企業 ・上北地域の企業	・第1回意見聴取対象企業(120事業所)+23事業所を対象 ※第1回意見聴取から変更(トラック協会等からの紹介企業)
道路利用者	・広域の道路利用者	・WEB ・留置き(約50箇所)

■ヒアリング調査による意見聴取の対象(案)

関連団体ヒアリング調査：54社・団体(訪問調査)

・自治体(1市3町)	・製造業者(1社)	・警察機関(2団体)
・県(1県)	・商工会議所(3団体)	・バス事業者等(4社)
・農業関連団体(3団体)	・トラック協会(1団体)	・学校(3団体)
・漁業関連団体(4団体)	・観光協会等(5団体)	・物流業者(13社)
・林業関連団体(1団体)	・消防機関(2団体)	・福祉事業者(3社)
・木材加工業者(2社)	・医療機関(2団体)	

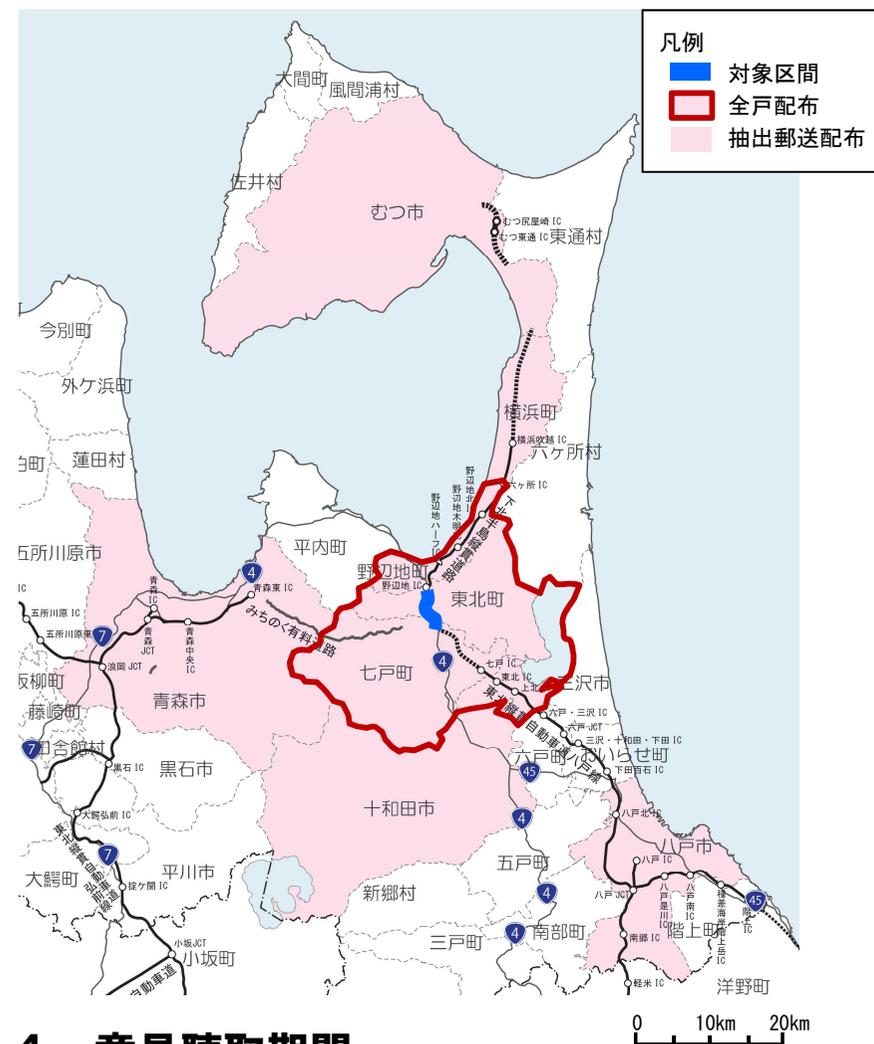
3. 地域への意向調査の周知方法

情報提供の項目

野辺地町、七戸町、東北町、青森市、八戸市、十和田市、むつ市、横浜町、青森県、青森河川国道事務所のホームページに意向調査(WEB)のバナーを設置

上記自治体の広報紙への掲載や青森河川国道事務所HP等で幅広く広報を実施

<アンケート配布範囲>



4. 意見聴取期間

◇1ヶ月程度

5. 実施主体

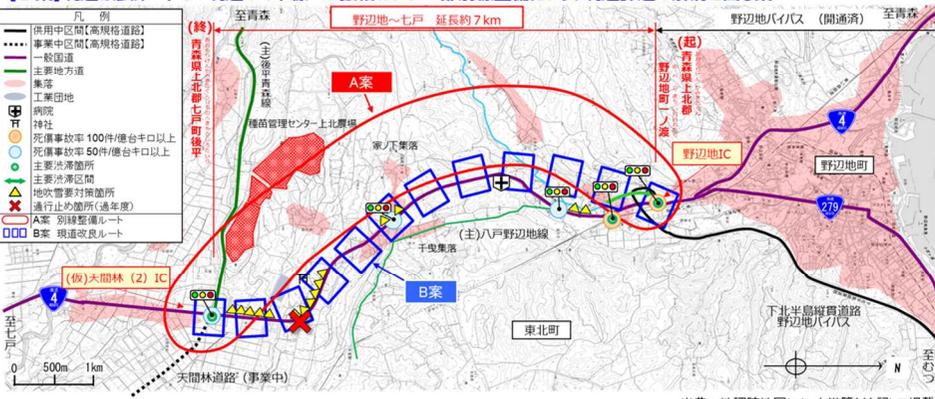
◇国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所

5-3. 地域の意見聴取(第2回)資料案

チラシ表面

以下の内容をご確認いただき、別紙のアンケート調査票へのご回答をお願い致します。

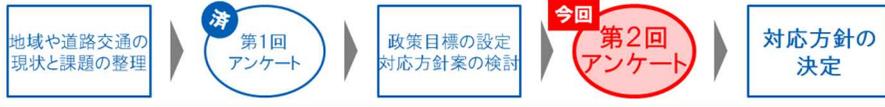
- 【A案】別線整備ルート：全線を別線で整備し、現道課題の解消を図る案
- 【B案】現道改良ルート：現道の4車線への拡幅および一部別線整備により、現道課題の解消を図る案



比較項目		【A案】別線整備ルート	【B案】現道改良ルート
断面図(イメージ)			
設計速度		80km/h	60km/h
政策目標	産業・物流	野辺地IC～天間林道路間を全線別線で接続。現道に加えて別線を整備することにより、通行止め時に代替機能を確保	現道を拡幅することにより、野辺地IC～天間林道路間が円滑に接続。4車線整備により、通行止めリスクが低減するが、代替機能は確保されない
	観光	別線整備による沿道の沿道出入り交通や交差点の回避により速達性に優れる	現道改良のため、沿道出入り交通や交差点が残り、A案より速達性が劣る
	交通	別線整備により、交差点が全て回避され、事故リスクが大幅に低減	上り、下りを分離することにより正面衝突事故等の事故リスクが低減されるが交差点が残るため、A案より走行環境に劣る
配慮すべき事項	生活環境	現道の交通が減少するため生活環境が改善される	現道改良区間で集落等を通過するため、沿道家屋等への影響は改善しない
	沿道環境	出入箇所が起終点のため、集落から本線へのアクセス性は劣る	沿道集落から本線へのアクセス性に優れる
	自然環境	全線バイパス区間となるため、山林地帯の改変が大きい	現道改良となるため、山林地帯の改変は生じない
	工事の影響	現道の工事は、接続部のみであるため施工時の現道交通への影響はほとんどない	施工時に比較的に長い区間で交通規制が必要となるため、現道交通への影響は大きい
コスト	整備に関する費用※	280～310億円	250～280億円

※現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある。

～ 今回のアンケートと道路計画の流れ ～



● アンケートに関するお問い合わせ先(平日 9:00～17:00)
 青森河川国道事務所 調査第二課 TEL 017-734-4570 FAX 017-722-2384

下北半島縦貫道路(野辺地町～七戸町間)の道路計画に関するご意見をお聞かせ下さい！！



全4問
5分程度で回答できます

【インターネットでも回答できます】
 インターネットで回答する場合は『下北半島縦貫道路アンケート』で検索しアンケートページへアクセス、もしくは右の二次元コードや『青森河川国道事務所』で検索し、右バナーからアクセスしてください。



5-3. 地域の意見聴取(第2回)資料案

チラシ裏面

1 第1回アンケートでは下記の「地域や道路の課題」について、ご意見をいただきました。

地域や道路の課題

課題1

輸送ルートの機能強化

対象区間は、多様な農林水産品の輸送ルートです。販路を拡大し、**地域産業を支える高速道路ネットワークのさらなる拡充と強化が必要です。**

〔ひらめ〕



〔野辺地葉つきこかぶ〕



課題2

広域周遊観光の形成

七戸十和田駅は、下北半島や十和田湖などの周遊観光の拠点となっています。新幹線駅から下北方面への観光はレンタカー利用が多く、**広域周遊観光を形成する上で、高速道路ネットワークをつなげることが必要です。**

〔尻屋崎灯台と栗立馬〕



課題3

走行環境の改善

周辺の高速道路ネットワークの延伸により、対象区間では年々交通量が増加しています。現在は走行速度が低く、交通事故も多発しており、**幅員などの走行環境の改善が必要です。**

〔冬期幅員減少状況〕

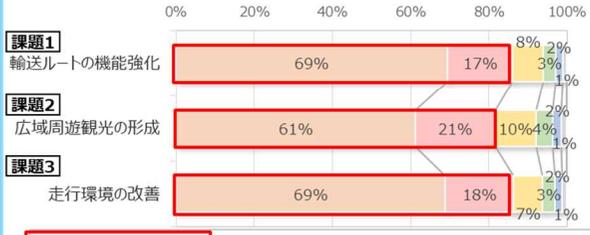
〔冬期事故状況〕



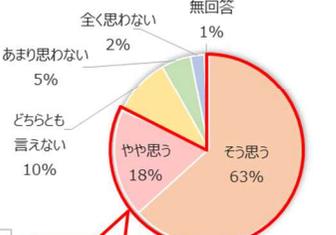
第1回アンケート結果 **たくさんのご回答をいただき、ありがとうございました。**

住民・道路利用者

■地域の課題に対する認識



■新たな道路整備の必要性



約8割の方が必要性を認識

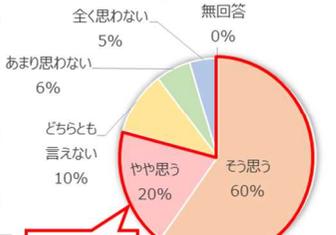
回答票数：10,031票

事業所

■地域の課題に対する認識



■新たな道路整備の必要性



約8割の方が必要性を認識

回答票数：87票

2 ご意見を踏まえて、ルート帯を検討する上で重視すべき事項について、以下の8項目を考えています。

【政策目標】

① 安定した物流を支えるルートの確保

【A案】別線整備ルート

【B案】現道改良ルート



② 広域観光を支えるルートの確保

【A案】別線整備ルート

【B案】現道改良ルート



③ 道路走行環境の改善

【A案】別線整備ルート

【B案】現道改良ルート



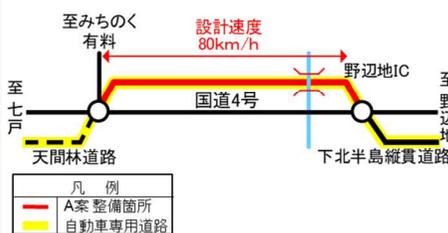
【道路整備による影響】

- ④ 沿道家屋への影響が少ないこと
- ⑤ 沿道沿線住民への影響が少ないこと
- ⑥ 自然環境への影響が少ないこと
- ⑦ 工事に伴う規制の影響が少ないこと
- ⑧ 整備にかかる費用が安いこと

3 政策目標を達成するためのルート帯として、以下の2案を立案しました。

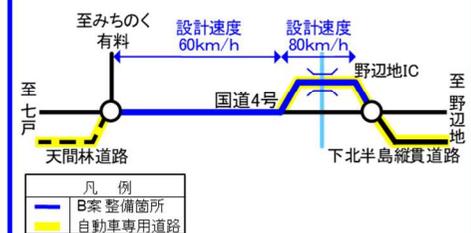
【A案】別線整備ルート

全線を別線で整備し、現道課題の解消を図る案



【B案】現道改良ルート

現道の4車線拡幅および一部別線整備により、現道課題の解消を図る案



詳細は裏面をご参照ください。

5-3. 地域の意見聴取(第2回)資料案

回答はがき
表面

アンケート調査票 (裏面の質問票をご覧ください、回答はがきにご記入をお願いします)

アンケート回答用はがきが2枚ついています。お一人様1枚ずつのご回答をお願い致します。
(さらにご協力いただける方がいらっしゃる場合は、インターネットからご回答願います。お近くの市町村役場などにもアンケート票を設置しております)

◆返信方法 ※以下のいずれかで返信をお願い致します。
お近くの郵便ポストに投函願います。(切手は不要です) また下記の場所においても回収ボックスを設置しております。

回収ボックス設置場所

・青森河川国道事務所、出張所 道の駅(しちのへ、おがわら湖、浅虫温泉、よこはま)

・青森県庁、各市役所・町役場・支所(野辺地町、七戸町、東北町、青森市、八戸市、十和田市、むつ市、横浜町)等

注)設置場所の詳細は、「青森河川国道事務所のホームページ」の「計画段階評価」バナー、または下記問い合わせ先まで。

青森河川国道事務所

◆インターネットによる回答を行う場合は、「**下北半島縦貫道路アンケート**」で検索し、アンケートページへアクセス、もしくは右QRコードからアクセスできます。また、青森河川国道事務所ホームページにある右バナーからアクセスできます。

下北半島縦貫道路(野辺地町～七戸町) **ご意見募集中**

◆締切 **令和3年●月●日**までお願い致します。
◆アンケートに関するお問い合わせ先(平日 9:00～17:00)
青森河川国道事務所 調査第二課 TEL 017-734-4570 FAX 017-722-2384

【回答用はがき】注)回答用はがきは2枚あります。お一人様1枚ずつのご回答をお願い致します。

<1枚目> <2枚目>

郵便はがき

料金受取人私郵便 030 見本 910 228

青森河川国道事務所 **見本**

青森県青森市中央3丁目20-38
国土交通省 東北地方整備局
青森河川国道事務所 調査第二課
アンケート事務局 行

※本アンケートでお答えいただいた意見及び個人情報、他の目的で利用したり、第三者に利用させたりすることは一切いたしません。

あなたについてお聞かせください([] 内に記入または該当する番号に○)

第1回アンケートへの回答 1. 回答した 2. 回答していない

郵便番号 [] 都・道・府・県
[] 市・町・村
地区名 []

性別 1. 男性 2. 女性 記入日 月 日

年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

職業 1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業 4. 学生 5. 主婦・主夫
6. 無職 7. その他()

郵便はがき

料金受取人私郵便 030 見本 7910 228

青森河川国道事務所 **見本**

青森県青森市中央3丁目20-38
国土交通省 東北地方整備局
青森河川国道事務所 調査第二課
アンケート事務局 行

※本アンケートでお答えいただいた意見及び個人情報、他の目的で利用したり、第三者に利用させたりすることは一切いたしません。

あなたについてお聞かせください([] 内に記入または該当する番号に○)

第1回アンケートへの回答 1. 回答した 2. 回答していない

郵便番号 [] 都・道・府・県
[] 市・町・村
地区名 []

性別 1. 男性 2. 女性 記入日 月 日

年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

職業 1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業 4. 学生 5. 主婦・主夫
6. 無職 7. その他()

回答はがき
裏面

アンケート調査票 (回答はがきにご記入をお願いします)

問1 国道4号の野辺地町～七戸町間(対象区間)の道路利用について、お伺いします。
(それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください)

A 利用目的 (主なもの1つに○)	1. 通勤・通学 2. 通院 3. 家事・買物 4. 仕事(営業・運送等) 5. ドライブ・レジャー 6. 利用しない(※問2へ) 7. その他(カッコ内にご記入ください)
B 利用頻度 (1つに○)	1. 週に5回以上 2. 週に3～4回 3. 週に1～2回 4. 月に1～2回 5. 年に数回
C 移動手段 (主なもの1つに○)	1. 自動車 2. 公共交通(バス・タクシー) 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩

問2 対策案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目を3つまで選んでください。(番号に○をつけてください)

1. 通行止めリスクの低い安定した物流ルートが確保されること	5. 沿道沿線住民への影響が少ないこと
2. 下北・上北地域の主要な観光地への所要時間が短くなること	6. 自然環境への影響が少ないこと
3. 冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること	7. 工事に伴う規制の影響が少ないこと
4. 沿道集落への影響が少ないこと	8. 整備にかかる費用が安いこと

問3 問2でチェックした項目について、そう思われる理由について、ご自由にお書きください。

問4 問2でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることがありましたら、ご自由にお書きください。

【回答用はがき】 <1枚目> <2枚目>

下北半島縦貫道路(野辺地町～七戸町間) 第2回アンケート調査 回答欄

問1. それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。

A 利用目的	1	2	3	4	5	6	7()
B 利用頻度	1	2	3	4	5		
C 移動手段	1	2	3	4	5		

問2. 重視すべきと思われる項目に○をつけてください。(3つまで)

- 通行止めリスクの低い安定した物流ルートが確保されること
- 下北・上北地域の主要な観光地への所要時間が短くなること
- 冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること
- 沿道集落への影響が少ないこと
- 沿道沿線住民への影響が少ないこと
- 自然環境への影響が少ないこと
- 工事に伴う規制の影響が少ないこと
- 整備にかかる費用が安いこと

問3. 重視すべきと思われる理由
(自由意見)

問4. 他に重視すべきと思われること
(自由意見)

下北半島縦貫道路(野辺地町～七戸町間) 第2回アンケート調査 回答欄

問1. それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。

A 利用目的	1	2	3	4	5	6	7()
B 利用頻度	1	2	3	4	5		
C 移動手段	1	2	3	4	5		

問2. 重視すべきと思われる項目に○をつけてください。(3つまで)

- 通行止めリスクの低い安定した物流ルートが確保されること
- 下北・上北地域の主要な観光地への所要時間が短くなること
- 冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること
- 沿道集落への影響が少ないこと
- 沿道沿線住民への影響が少ないこと
- 自然環境への影響が少ないこと
- 工事に伴う規制の影響が少ないこと
- 整備にかかる費用が安いこと

問3. 重視すべきと思われる理由
(自由意見)

問4. 他に重視すべきと思われること
(自由意見)

【参考】第1回アンケート回収状況

- 地域住民アンケートの市町別で見ると、十和田市やむつ市等で25%と回収率が高い。
- 全戸配布をした沿線3町の回収率は、6～8%となっている。

【表1】アンケート調査票の回収状況

市町	広報紙・抽出郵送配布			【参考】回収数			
	配布数	回収数※1	回収率※1	広報紙・抽出 郵送配布※2	留置き	WEB	計
野辺地町	5,448	435	8%	611	16	45	672
七戸町	5,270	424	8%	578	28	39	645
東北町	5,593	316	6%	428	155	20	603
青森市	8,993	1,381	15%	2,463	105	258	2,826
八戸市	7,150	1,533	21%	2,639	46	195	2,880
十和田市	1,818	461	25%	787	44	88	919
むつ市	1,902	482	25%	878	53	114	1,045
横浜町	137	29	21%	45	69	5	119
その他	—	14	—	14	51	92	157
無回答	—	52	—	113	36	16	165
計	36,311	5,127	14%	8,556	603	872	10,031

※1 アンケートにはハガキを2枚添付、回収数・回収率は、配布したアンケートのうち1枚目の回収数・回収率

※2 1枚目、2枚目を合計した数